



下水道モニター 平成 22 年度 第 1 回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行っています。

第 1 回アンケートでは、東京都下水道局や下水道事業に対するイメージ、事業活動に対する認知度や評価、東京都の下水道が抱える課題などについてうかがいました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆ 実施期間 平成 22 年 5 月 28 日(金)～6 月 11 日(金)15 日間
- ◆ 対 象 者 東京都下水道局「平成 22 年度下水道モニター」
※東京都在住 20 歳以上の男女個人
- ◆ 回答者数 557 名
- ◆ 調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

I 結果の概要

II 回答者属性

III 集計結果

1. 下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度
2. 新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価
3. 下水道に関するニーズ
4. 下水道の課題
5. 下水道事業の評価基準
6. 下水道事業の認知経路
7. 下水道事業のイメージ
8. 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求
9. 下水道局へのご意見・ご要望など

I 結果の概要

1. 下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度

4～14 頁

◆【水質改善】

（認知度）全体の認知度は 93%であり、男性の認知度が若干高い。年代が上がるにつれて認知度も上がる。

（重要度）全体の 89%が「非常に重要である」と回答。女性の方の認識度が高い。

（貢献度）全体の 80%が「非常に貢献度がある」と回答。特に 70 歳以上が最も高い。僅差ではあるが、23 区の方の評価が高い。また、水質改善は「自然環境の保護」及び「水質汚染防止」という観点から貢献度を評価されていた。

◆【浸水防除】

（認知度）認知度は 82%。男性、50～60 歳代、23 区の認知度が高い。

（重要度）66%が「非常に重要である」と回答。女性、50 歳代、23 区の方が重要性をより高く認識。

（貢献度）61%が「非常に貢献度がある」と評価しており、女性、23 区の評価が高い。年代別では 50 歳代の割合が最も高く、60 歳代の評価が最も低い。また、浸水防除は「浸水被害回避」という観点から貢献度を評価されていた。

2. 新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価

15～22 頁

◆【新たな事業活動の認知度】

「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」の認知度は 6 割超。一部の事業活動においては、男性の認知度が高い。なお上記は、年代が上がるにつれて認知度も上がる。

◆【新たな事業活動の社会的貢献度】

全体の 60%以上が社会的に「役立っている」と評価。「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」は、54%が「非常に役立っている」と回答。

◆【新たな事業活動の受容状況と総合評価に影響する要因】

認知度、社会的な貢献度が高いのは「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」や「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」。総合評価へと影響するのは、「下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用」への評価が最も大きい。

3. 下水道に関するニーズ

23～26 頁

- ◆【下水道について知りたいこと】…「下水道の働きや役割・貢献内容」75%、「下水道料金の内訳と使い道」71%が圧倒的に多い。特に女性は料金の使い道を知りたい、70 歳以上は、他世代よりも「下水道局の地域連携の状況」を知りたいという割合が多い。地域別では、全ての項目で多摩地区の方が高くなっている。

4. 下水道の課題

27～36 頁

- ◆【下水道管の老朽化】…認知度は 42%。男性の方が「知っていた」割合が多い。年代が上がるにつれて認知度は高くなる。全体の 99%が「深刻な問題である」と捉えている。
- ◆【都市型浸水対策】…認知度は 75%で、男性の認知度が高い。また年代が上がるにつれて認知度も上がる。「深刻な問題である」と捉える割合は 100%であり、特に女性の割

合が多い。この現象は 50 歳代をピークに減少する。

- ◆【合流式下水道の改善】…認知度は 23%と低い（特に女性の割合は 16%）。23 区の方が認知度が高い。深刻な問題として捉えているのは 66%であり、女性の割合が高くなっている。最多は 70 歳以上で、最小は 30 歳代。23 区よりも多摩地区の認識が高い。
- ◆【課題の公表】…概ね全員が「知らせた方がよい」と思っている。特にそう思っているのは、40 歳代～60 歳代に多い。地区別では多摩地区が多い。

5. 下水道事業の評価基準

37～40 頁

- ◆【下水道事業の評価基準】…最も多かったのは「公共性(国民、地域のために役立つ事業であるか)」で 83%、次いで「環境貢献度(私たちが住む環境の保全に貢献しているか)」が 74%、そして「災害リスク対応度(災害リスクへの対応が想定されているか)」が 70%、最後に「経済性(投資する費用と期待する効果が合っているか)」の 51%と続いた。特に年代が上がるにつれて、「公共性」の観点が重視される。「経済性」は性別では女性の方が、地域別では多摩地区の方が重視する割合が多い。

6. 下水道事業の認知経路

41～44 頁

- ◆【下水道事業の認知経路】…「広報東京都」が 57%と最も多い。次いで「テレビ番組・ニュース」34%、「下水道局ホームページ」33%などから認知している。

7. 下水道事業のイメージ

45 頁

- ◆【下水道事業のイメージ】…「汚い・汚れる」といった回答が最も多く、次いで「重要・大事・大切」、「生活」、「水」が挙げられており、「汚いものをきれいにする、生活をしていく上で重要なもの」という意見が多かった。

8. 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

46～51 頁

- ◆【下水道事業に関する情報の探求欲求】…詳細な情報を知りたいと答えた人の割合は「非常にそう思う」が 48%で、「ややそう思う」(48%)と合わせると 96%。年代が上がるにつれて「非常にそう思う」割合が多くなる（特に 70 歳以上では 70%）。また、詳細な情報を知りたい理由として、「下水道知識がまだ不十分」という意見が 25%と最も多く、更なる知識の吸収を望んでいた。
- ◆【下水道事業に関する情報の共有欲求】…全体では「非常にそう思う」割合は 29%。「ややそう思う」割合が 48%となっている。女性の方が「ややそう思う」割合が多い。特に 70 歳以上のそう思う割合が最も高い。また、周知したい理由としては「周囲の知識を高めたい」という意見が 34%と最も多く、周知に積極的でない理由としては「機会があれば周知」という意見が 6%と最も多かった。

9. 下水道局へのご意見・ご要望など

52～66 頁

- ◆東京都下水道局へのご意見やご要望としては、「活動内容がわかり有意義」が 32%と最も多く、「さらなる PR や教育活動の必要」が 23%であった。

Ⅱ 回答者属性

- 平成 22 年度下水道モニター数は、アンケート実施時で 748 名である。
- 第 1 回アンケートは、平成 22 年 5 月 28 日（金）から 6 月 11 日（金）までの 15 日間で実施した。その結果、557 名の方からの回答があった。（回答率 74.5%）

■回答者 性・年齢

性・年齢		回答者数	モニター数	回答率
男性	20 歳代	14	22	63.6%
	30 歳代	55	83	66.3%
	40 歳代	60	82	73.2%
	50 歳代	50	52	96.2%
	60 歳代	70	92	76.1%
	70 歳以上	21	25	84.0%
	小計	270	356	75.8%
女性	20 歳代	28	43	65.1%
	30 歳代	97	147	66.0%
	40 歳代	94	113	83.2%
	50 歳代	35	50	70.0%
	60 歳代	31	35	88.6%
	70 歳以上	2	4	50.0%
	小計	287	392	73.2%
合計		557	748	74.5%

■回答者 居住地域

地 域	回答者数	モニター数	回答率
2 3 区 部	310	421	73.6%
多 摩 地 区	247	327	75.5%
合 計	557	748	74.5%

■回答者 職業

職 業	回答者数	モニター数	回答率
会社員	205	269	76.2%
公務員	0	14	0.0%
自営業	28	42	66.7%
学生	9	13	69.2%
私立学校教員・塾講師	4	3	133.3%
パート	52	62	83.9%
アルバイト	19	27	70.4%
専業主婦	139	200	69.5%
無職	85	99	85.9%
その他	16	19	84.2%
合計	557	748	74.5%

※モニター数と回答者数については、未回答や職業の変化等により一致しないことがある。

Ⅲ 集計結果

※ 文中の「n」は、質問に対する回答者数で、比率(%)はすべて「n」を基数(100%)として算出している。
また、小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100%にならないこともある。

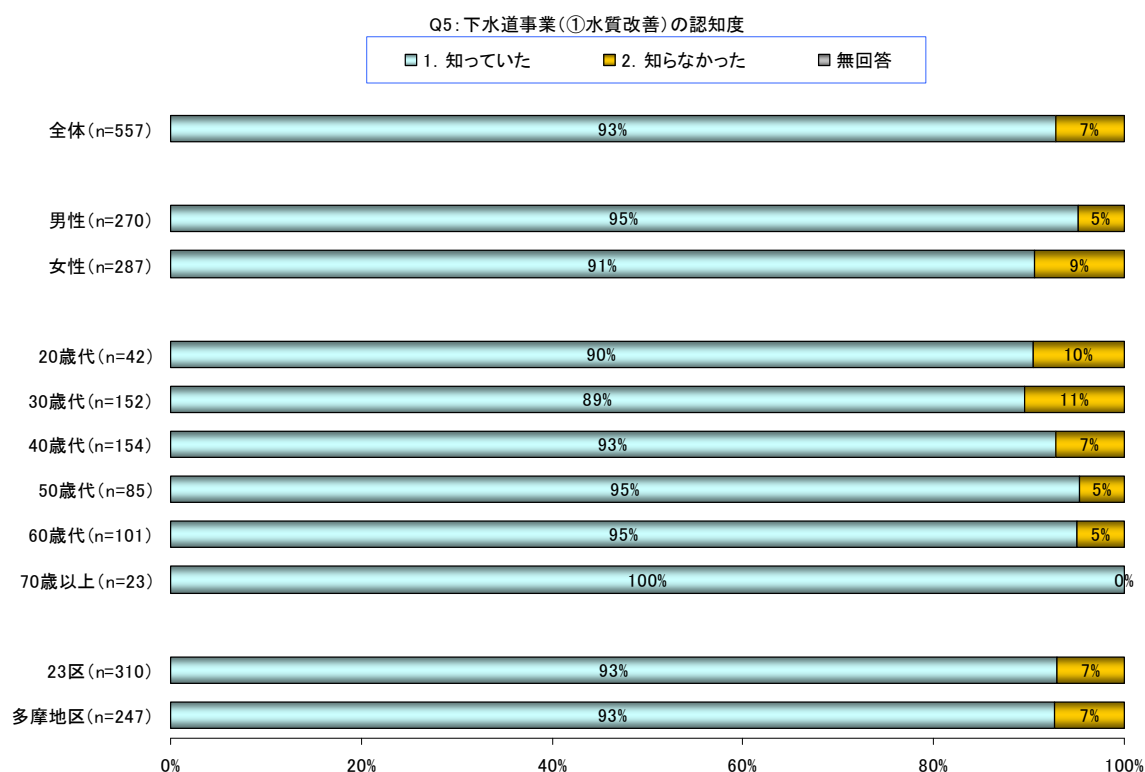
1. 下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度

1-1. 下水道の役割「水質改善」の認知度

- 下水道の基本的な役割「水質改善」は、93%が「知っていた」と答えている。
- 男女共に認知度は非常に高いが、男性の方が4ポイント高い。
- 年代別では、年代が上がるにつれて認知度が上がる傾向が見られる（但し20歳代を除く）。
- 地域別での差異は見られない。

Q5. 下水道には、家庭や工場などから出る汚れた水を、きれいにしてから川や海に放流するという役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-1 「水質改善」の認知度

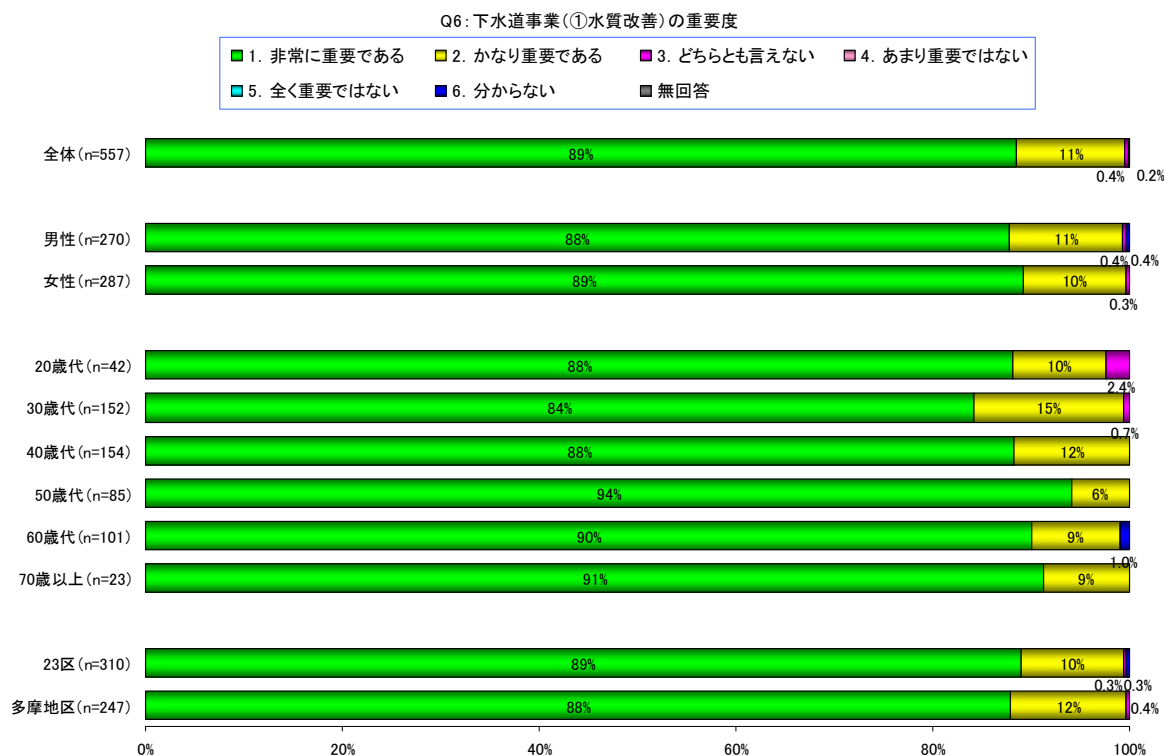


1-2. 下水道の役割「水質改善」の重要度

- 「水質改善」については、89%の人が「非常に重要である」と答えている。
- 男女別に見ると、女性の方が、男性よりも重要性を高く認識する割合が1ポイント上回っている。年代別に見ると、50歳代の「非常に重要である」と回答する率が最も高く、94%であった。
- 地域別では、1ポイントであるが23区の方が多摩地区よりも「非常に重要である」と回答する割合が多い。

Q6. 上記 Q5 の役割について、あなたはどのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-2 「水質改善」の重要度

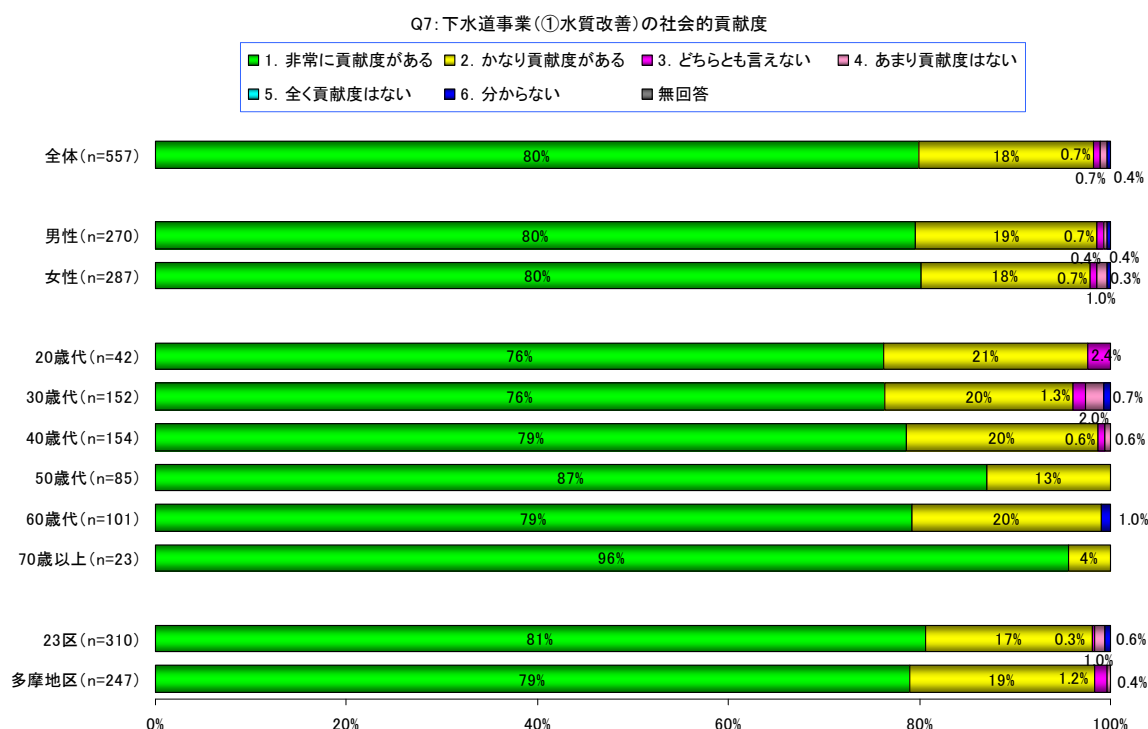


1-3. 下水道の役割「水質改善」の社会的貢献度

- 「水質改善」は、80%の人が「非常に貢献度がある」と回答している。
- 男女別での差異は見られない。
- 年代別で見ると、70歳以上が「非常に貢献度がある」と回答する割合が最も多く、96%であった。
- 地域別で見ると、23区の方が多摩地区よりも「非常に貢献度がある」と回答する割合が2ポイント上回っている。

Q7. 上記 Q5 の役割は、我々の生活にとってどのくらい社会的な貢献度が高いと思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-3 「水質改善」の社会的貢献度

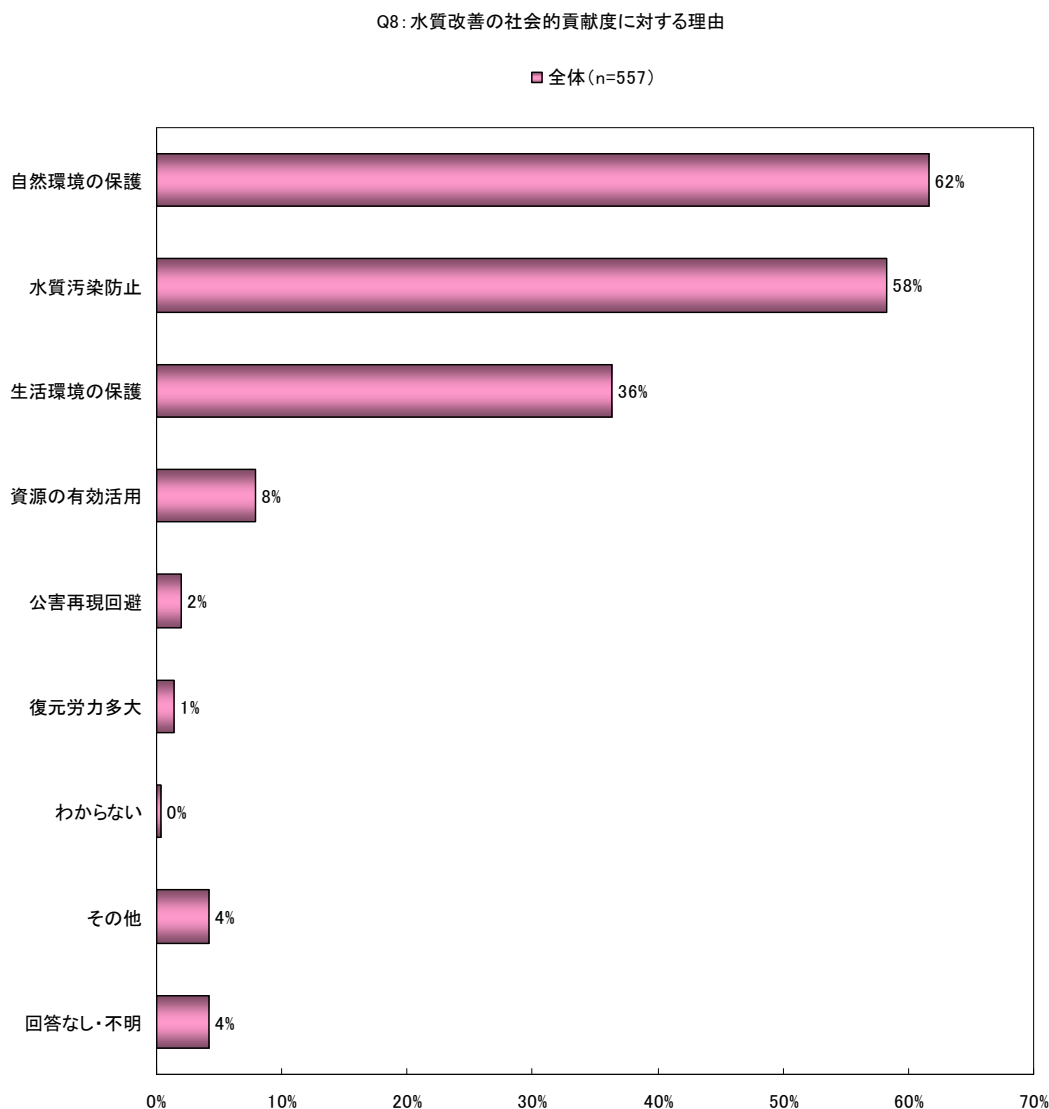


1-4. 「水質改善」の社会的貢献に対する理由

- 下水道事業が行う水質改善に対する社会的貢献として、「自然環境の保護」の貢献を認める意見が62%と最も多かった。
- 次いで、「水質汚染防止」(58%)、「生活環境の保護」(36%)などが貢献を認める理由として挙げられた。

Q8. 上記 Q7 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1-4 「水質改善」の社会的貢献に対する理由



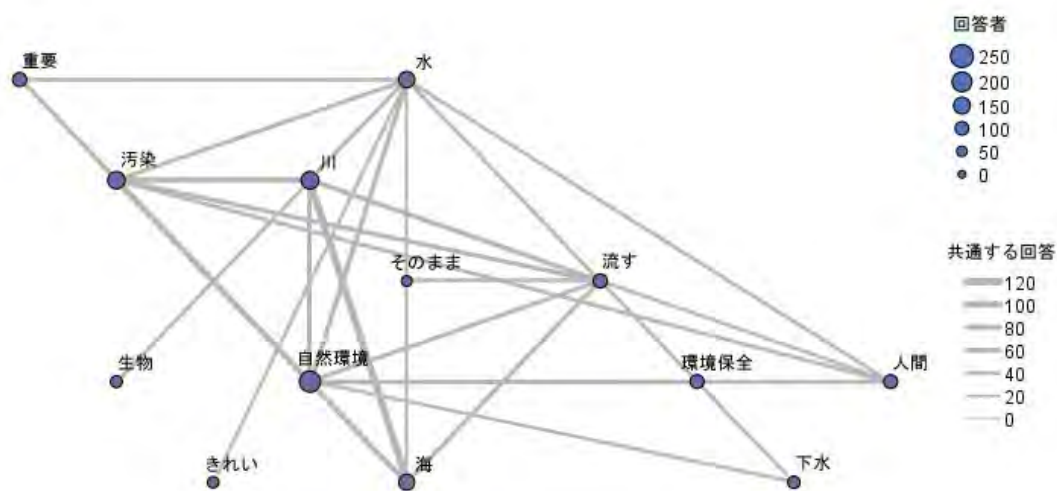
※ 上記は、表記のキーワードに関連した内容を回答した回答者の割合（率）である。例えば1位の「自然環境の保護」は、総回答者数 557 人のうち、回答欄に文章で「自然環境の保護」に関連する内容を記載した 345 人（62%）の割合を示している（以降の自由回答は、Q25 を除きすべて同様の方法にて集計している）。

1-5. 「水質改善」の社会的貢献に対する理由の傾向

- ネットワーク図を見ると、「川」や「海」といった「自然環境」が「汚染」されることに対してコメントが集まっている様子が伺える。
- また、「そのまま」・「流す」こと、「川」の「生物」について、「水」を「きれい」にすることなどの意見も比較的多く出ていることが想定される。

Q8. 上記 Q7 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1-5 「水質改善」の社会的貢献に対する理由のネットワーク図



※ 上図は、水質改善が社会的に貢献している（あるいは貢献していない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の●印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

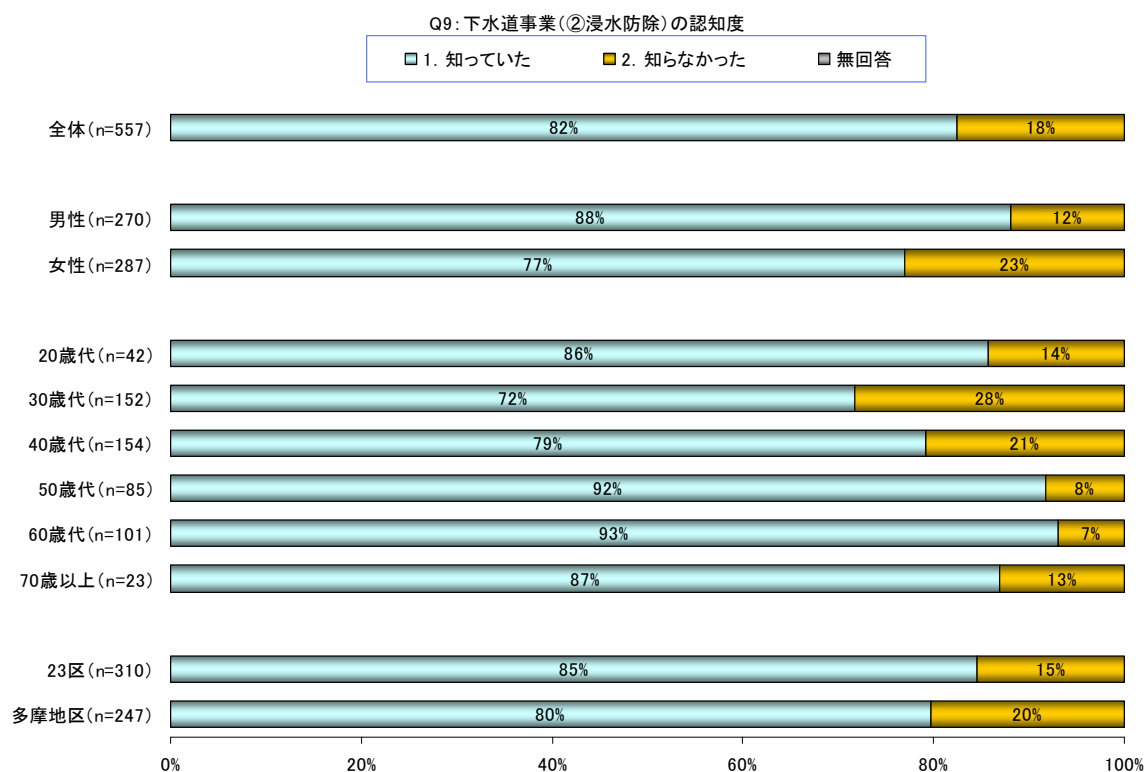
※ 上図ではノードを 30 回答以上、紐帯を 20 回答以上のもののみ表示している。

1-6. 下水道の役割「浸水防除」の認知度

- 下水道の基本的な役割「浸水防除」は、全体の82%が「知っていた」と答えている。
- 男女別で見ると、女性と比べて男性の認知度は11ポイントも高い。
- 年代別で見ると、相対的に50～60歳代の認知度が高い。
- 地域別で見ると、23区の認知度の方が多摩地区よりも5ポイント高い。

Q9. 下水道には、雨水を下水道管を通して川や海に流し、大雨による浸水からまちを守るという役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-6 「浸水防除」の認知度

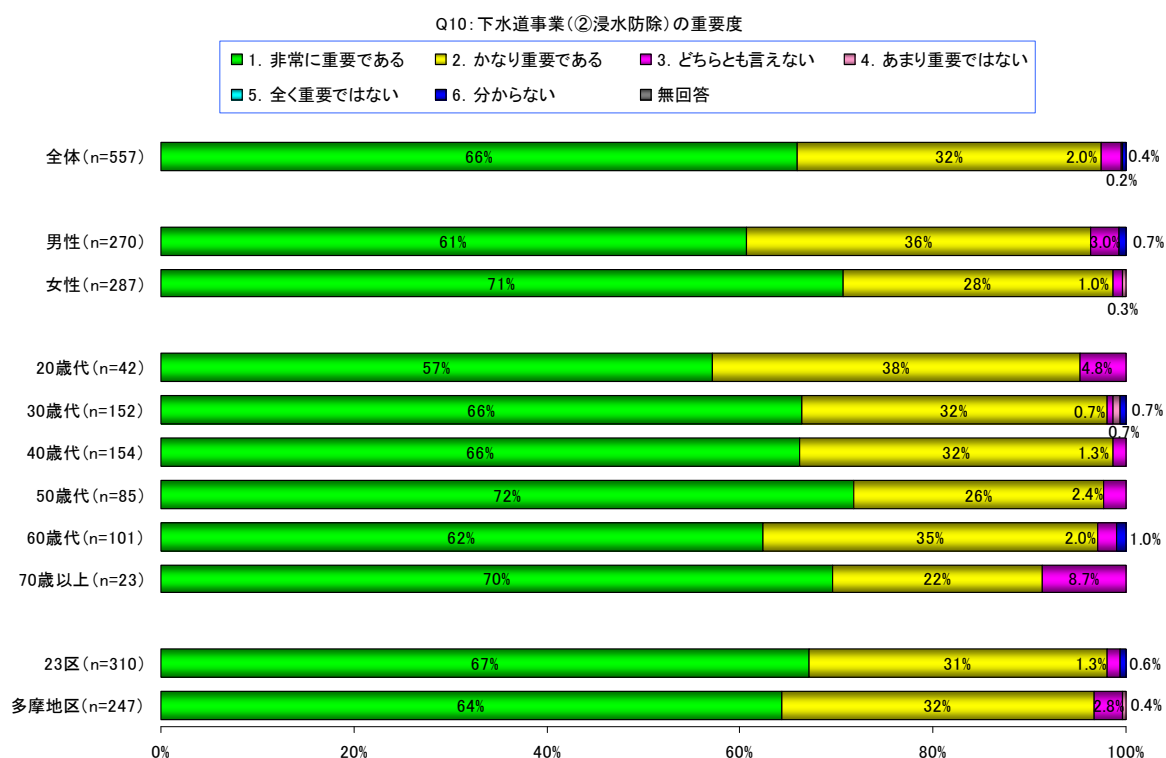


1-7. 下水道の役割「浸水防除」の重要度

- 「浸水防除」は、66%の人が「非常に重要である」としており、「かなり重要である」と合算すると、その割合は98%にもなる。
- 男女別では、女性の方が「非常に重要である」と回答する割合が男性よりも10ポイント程度上回っている。
- 年代別で見ると、50歳代の「非常に重要である」と回答する割合が最も多い。
- 地域別で見ると、23区の方が「非常に重要である」と回答する割合が多摩地区よりも3ポイント上回っている。

Q10. 上記Q9の役割について、あなたは、どのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-7 「浸水防除」に対する重要度

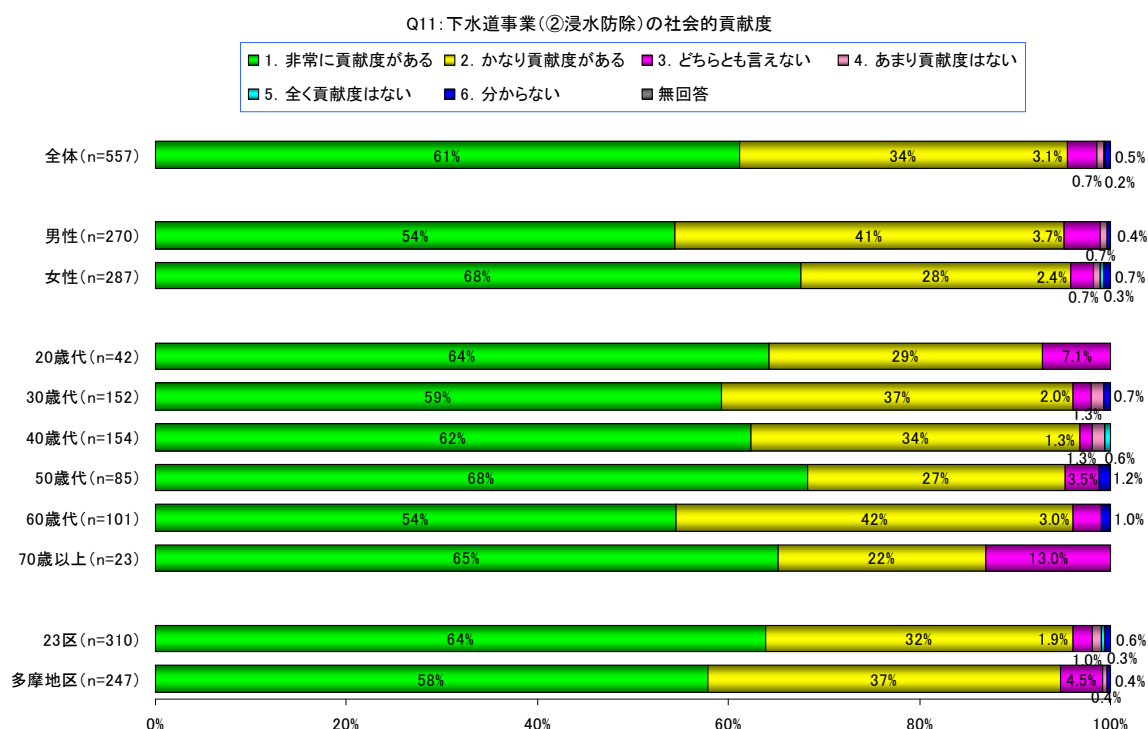


1-8. 下水道の役割「浸水防除」の社会的貢献度

- 「浸水防除」について、6割以上の方が「非常に貢献度がある」と評価している。
- 男女別で見ると、女性の評価は男性の評価よりも14ポイントも上回っている。
- 年代別では、「非常に貢献度がある」と評価する割合は50歳代が最も高く、60歳代の評価が最も低い。
- 地域別で見ると、23区の方が多摩地区よりも「非常に貢献度がある」と回答する割合が6ポイント高い。

Q11. 上記 Q9 の役割は、我々の生活にとってどのくらい社会的な貢献度が高いと思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-8 「浸水防除」に対する社会的貢献度

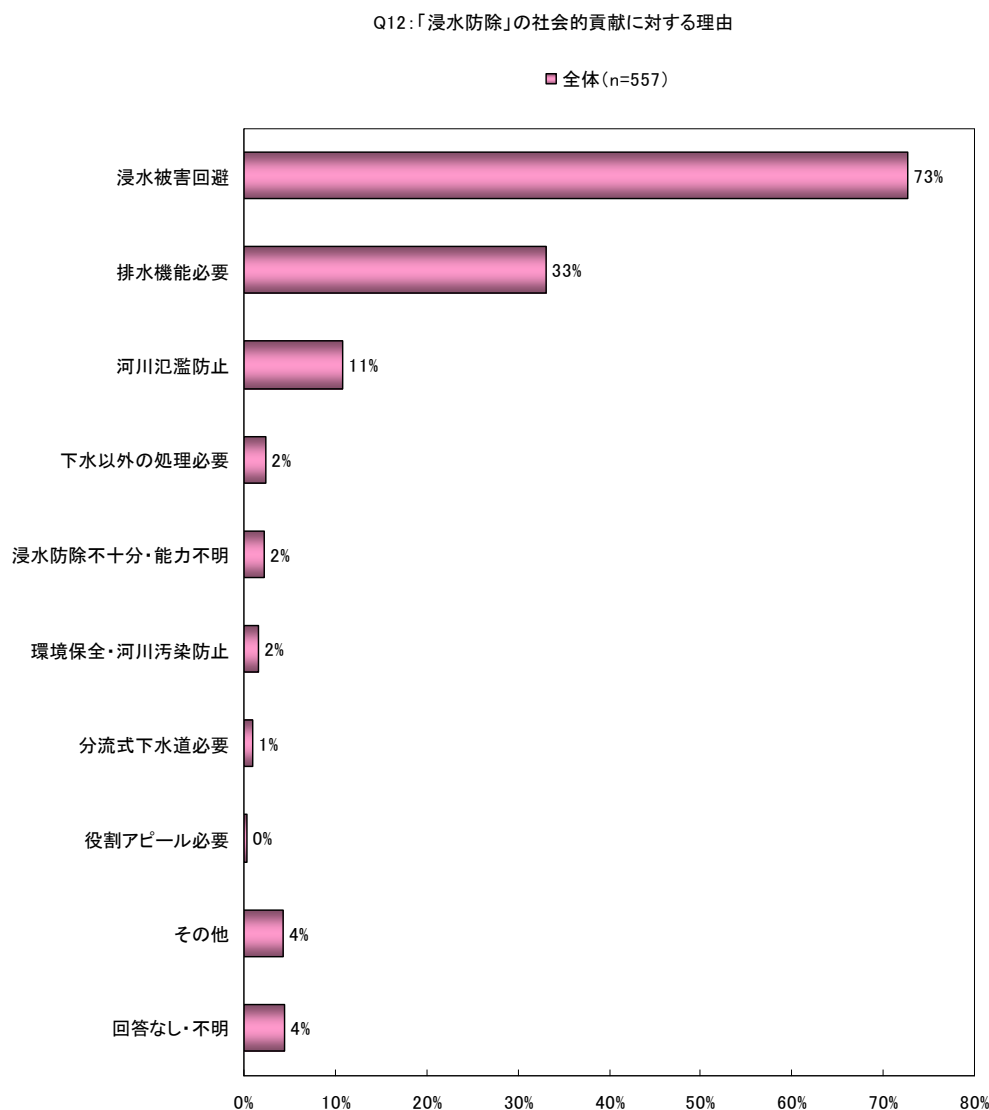


1-9. 「浸水防除」の社会的貢献に対する理由

- 下水道事業が行う「浸水防除」に対する社会的貢献として、「浸水被害回避」の貢献を認める意見が73%と最も多かった。
- 次いで、「排水機能必要」(33%)、「河川氾濫防止」(11%)などが貢献を認める理由として挙げられた。
- わずかだが、「下水以外に処理必要」とする意見や、豪雨時の合流式下水道汚水流出を考慮した「分流式下水道必要」といった意見も聞かれた。

Q12. 上記 Q11 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1-9 「浸水防除」に対する社会的貢献の理由



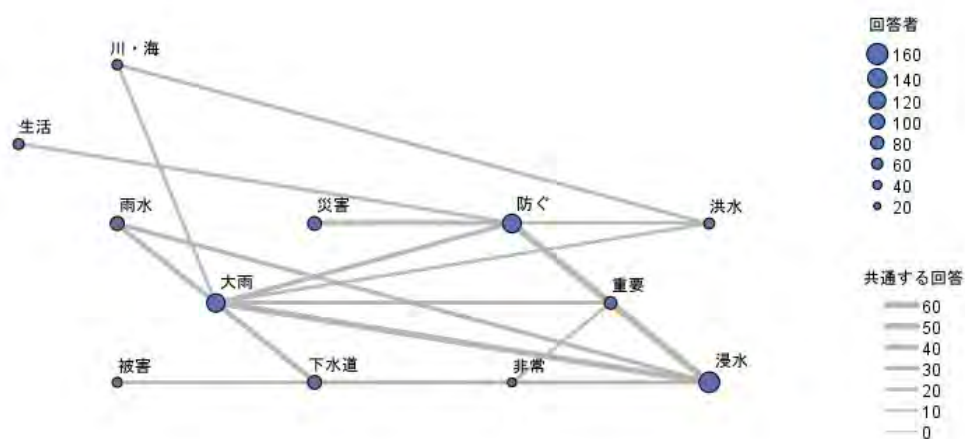
※ 上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

1-10. 「浸水防除」の社会的貢献に対する理由の傾向

- ネットワーク図を見ると、「大雨」や「浸水」を「防ぐ」ことが「重要」という中心部の三角のラインに意見が集まっているものと想定される。
- また、「川・海」の「洪水」や「災害」を「防ぐ」というような意見も出ている。

Q12. 上記 Q11 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1-10 「浸水防除」の社会的貢献に対する理由のネットワーク図



※ 上図は、浸水防除が社会的に貢献している（あるいは貢献していない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の●印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

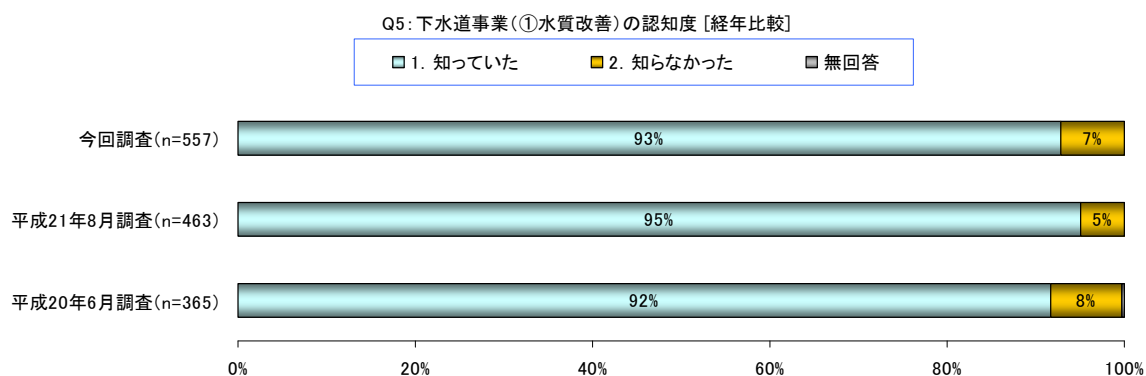
※ 上図ではノードを 30 回答以上、紐帯を 20 回答以上のもののみ表示している。

1-1-1. 下水道の役割の認知度〔経年比較〕

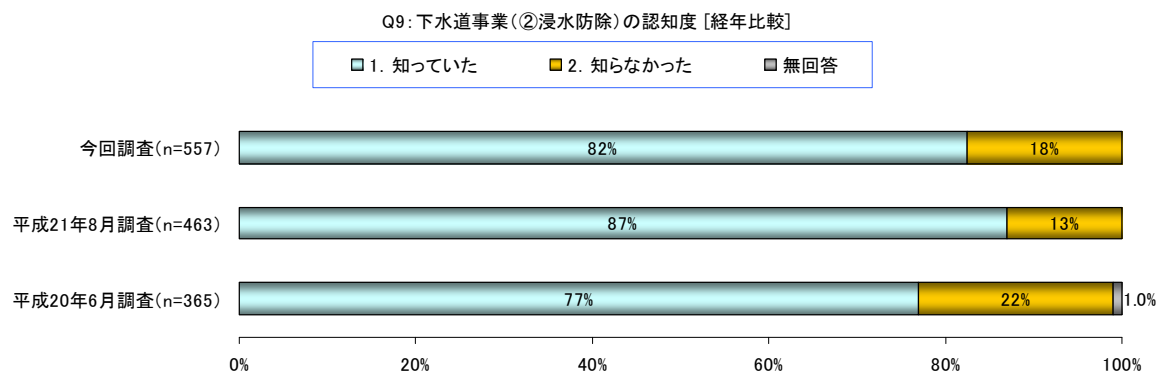
- 前回の調査結果と比較して見ると、「水質改善」の認知度は95%から93%に減少した。
- 「浸水防除」の認知度は、87%から82%と5ポイント減少している。

図1-1-1 下水道の役割の認知度〔経年比較〕

■ 水質改善



■ 浸水防除



2. 新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価

2-1. 新たな事業活動の認知度

- 新たな事業活動では、他の活動と比較して「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」や「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」の認知度が6割以上と高くなっている（水再生関連の事業活動に関する認知度が高い）。
- 男女別に見ると、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」、「汚泥で無焼却ブロックをつくり歩道や公園などに利用」、「再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」、「汚泥処理に発生するメタンガスの発電利用」、「下水道施設の省エネルギー化」などについては、男性の認知度の方が高い状況にある。
- 地域別では、特に差異は見られない。
- 年代別に見ると、上記の水再生関連の施策に関する認知度（特に「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」）は、年代が上がるにつれて認知度が上がる。

Q13. 東京都下水道局が行っている新たな活動や取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-1 新たな事業活動の認知度

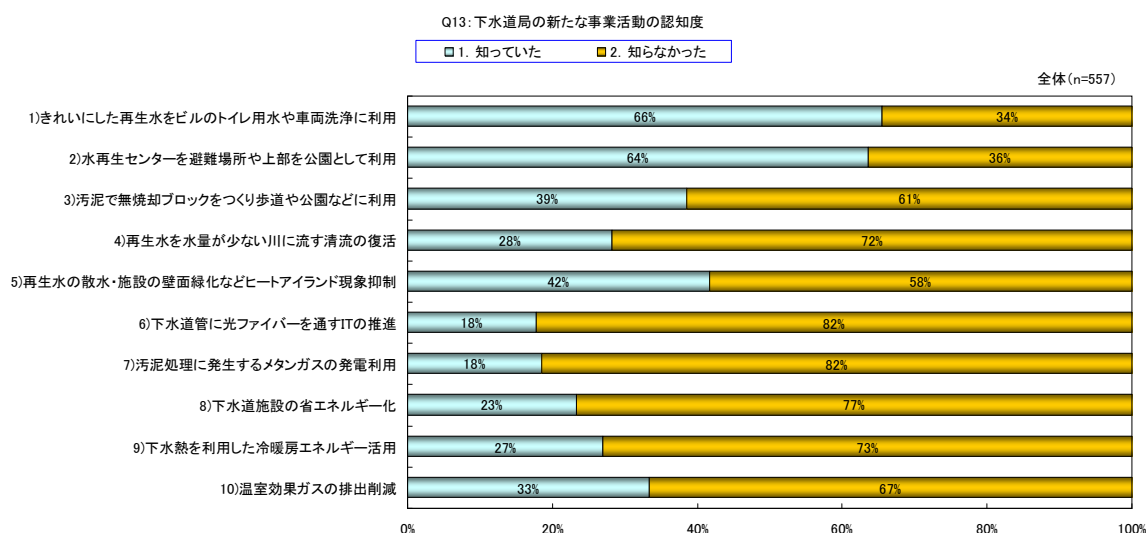
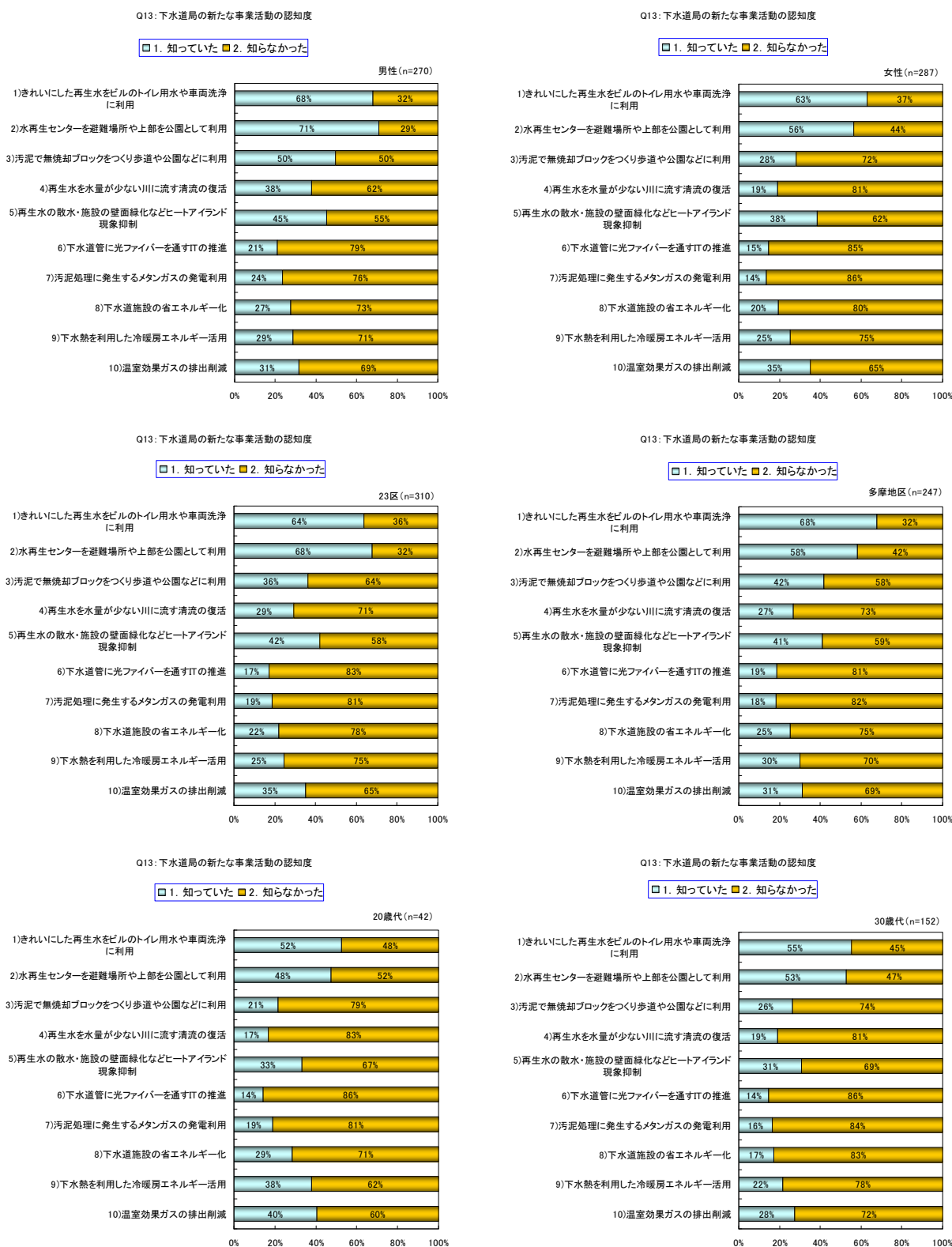
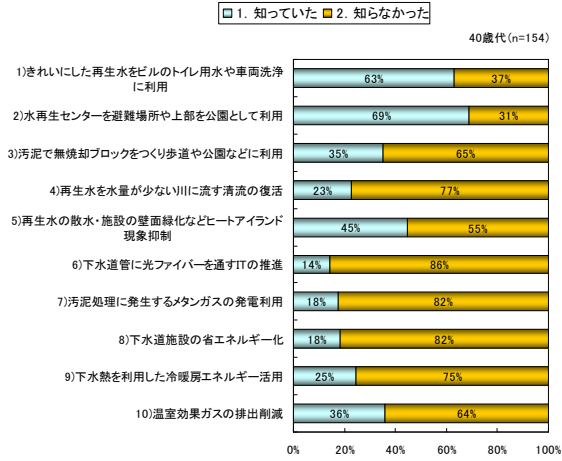


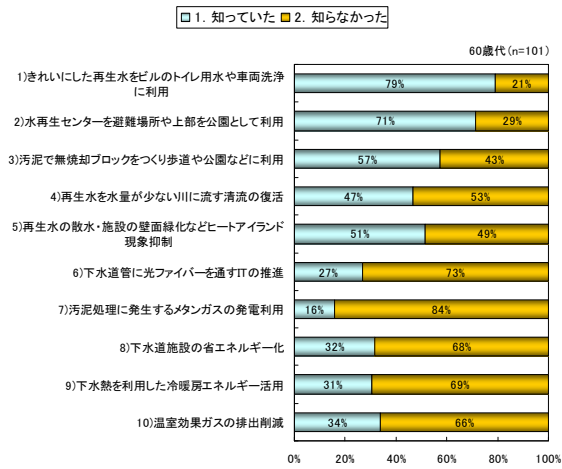
図 2-2 新たな事業活動の認知度〔性別・地域別・年代別〕



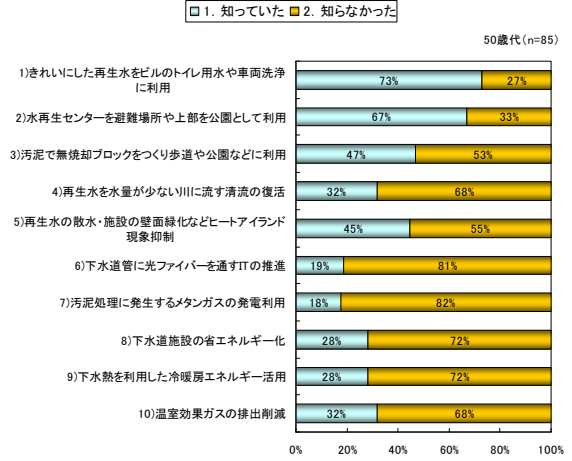
Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



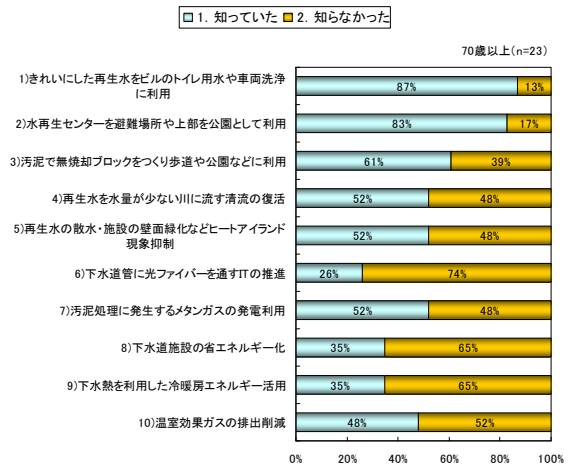
Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度

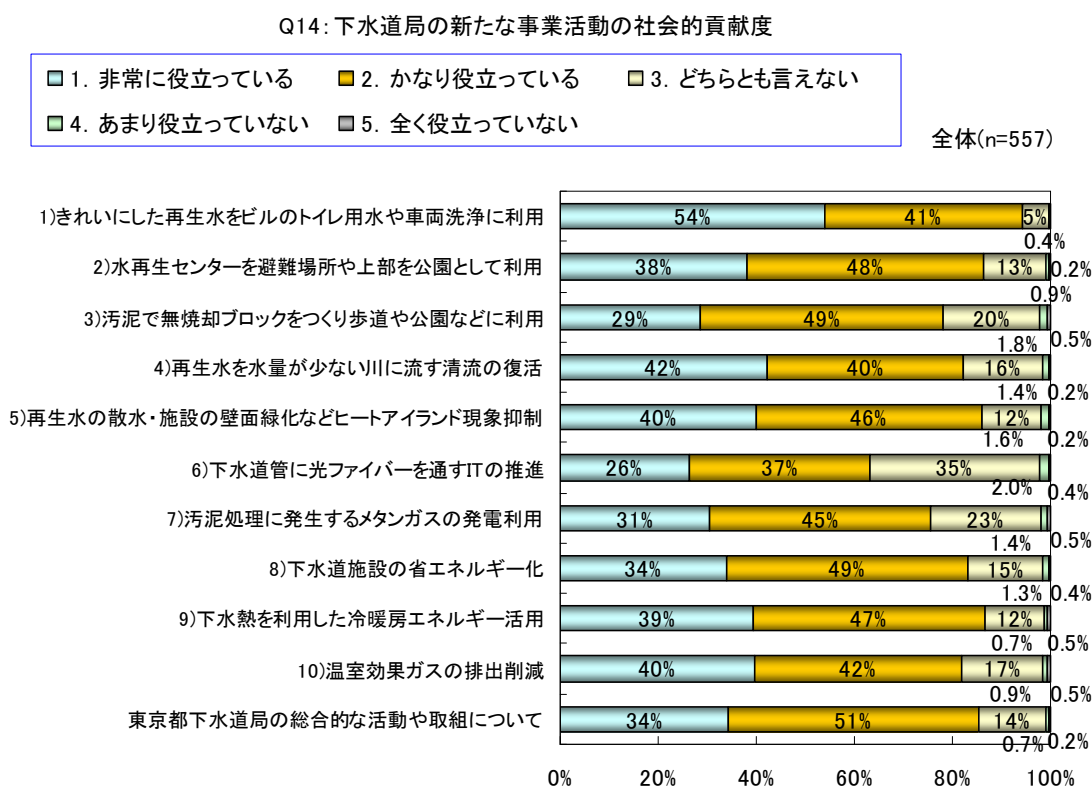


2-2. 新たな事業活動の社会的貢献度

- 各事業活動は、全体で見ると 60%以上が「役立っている（非常に役立っている＋かなり役立っている）」と評価している。
- 特に「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」は、「非常に役立っている」と回答する割合が 54%と最も多い。次いで「再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」が 42%、「再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制」が 40%、「温室効果ガスの排出削減」が 39%、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」が 38%となっている。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-3 新たな事業活動の社会的貢献度

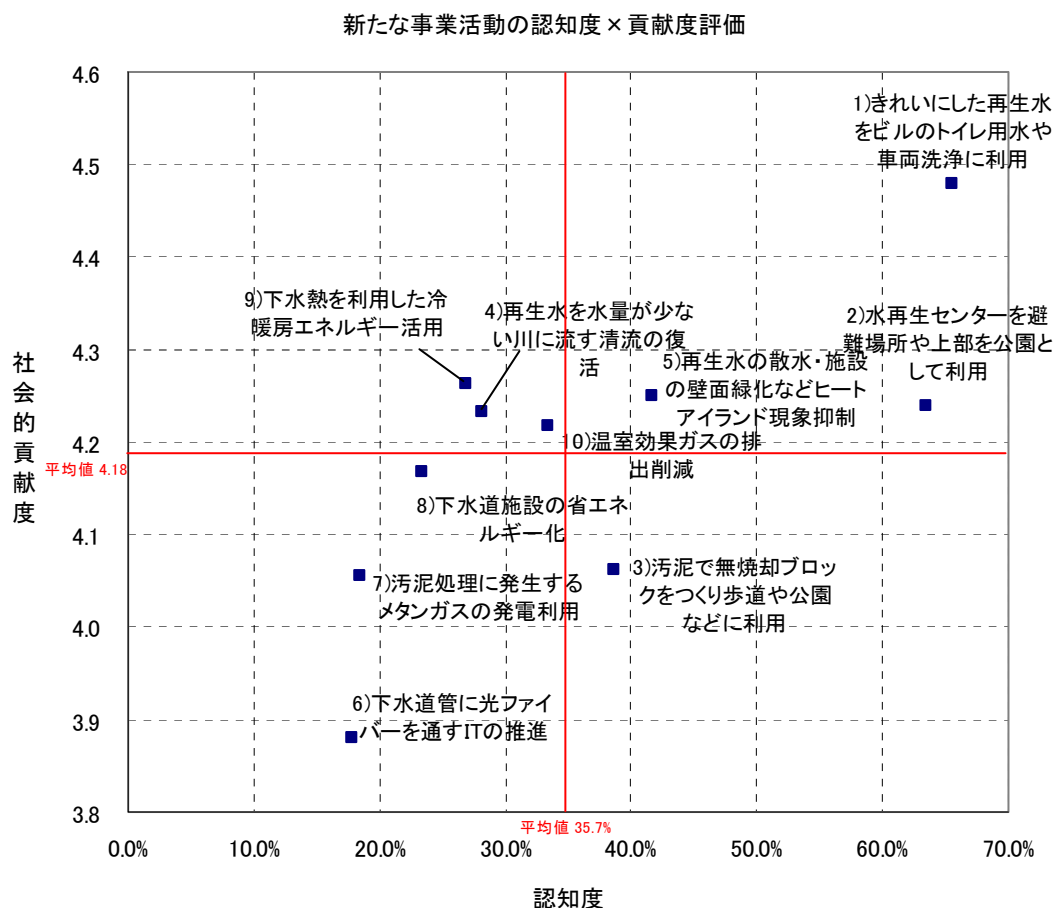


2-2. 新たな事業活動の社会的貢献度（認知度×貢献度評価）

- 認知度が高く、社会的な貢献度も高いのは「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」や「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」などの事業活動である。
- 認知度は低いですが、社会的貢献度が高いものは「下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用」や「再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」などの新たな事業活動である。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-4 新たな事業活動の認知度×貢献度評価



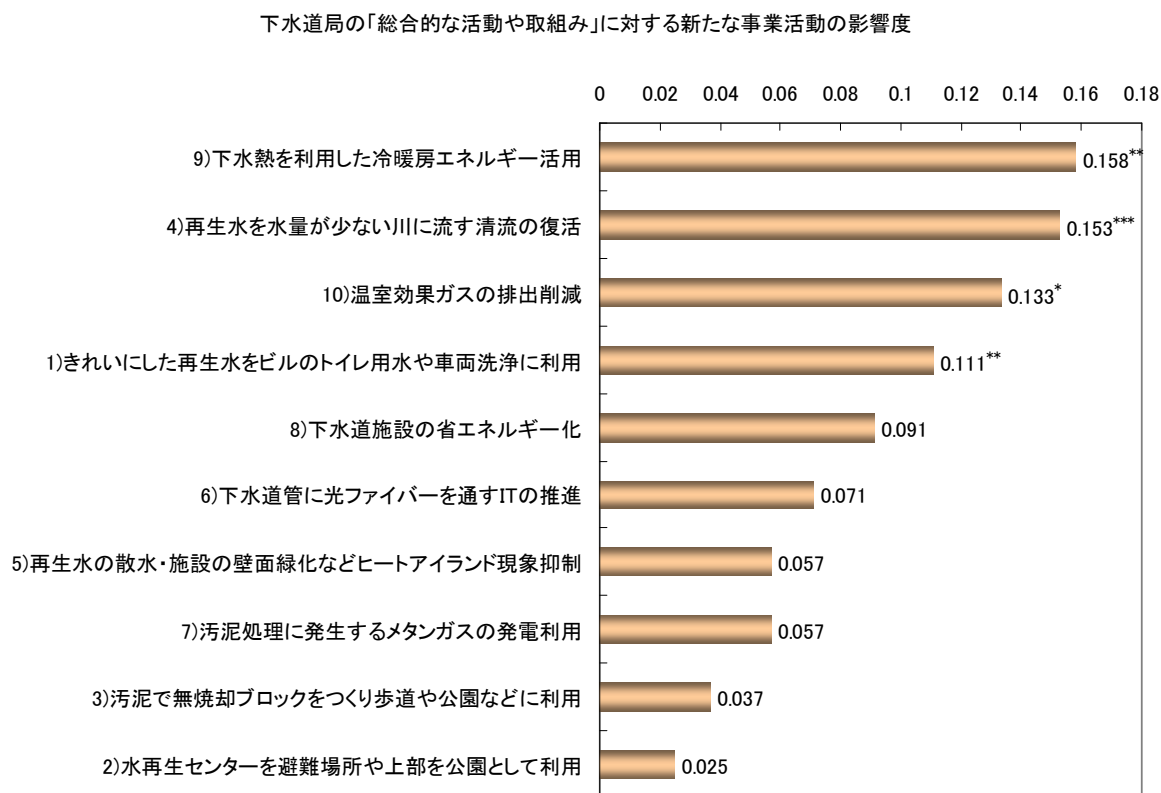
※ 上の図は「東京都下水道局が行っている新たな活動や取組（10 項目）」について、それぞれの項目の「社会的貢献度（Q14 の単純平均値）」を縦軸、「認知度（Q13 の認知率）」を横軸にとった交点を示している。社会的貢献度については 5 段階（5:非常に役立っている 4:かなり役立っている 3:どちらとも言えない 2:あまり役立っていない 1:全く役立っていない）での評価であり、評価の幅は 3.8～4.5 となるため、総じて評価が高い中での相対的な評価となっている。

2-2. 新たな事業活動の社会的貢献度（総合評価への影響度）

- 東京都下水道局の総合的な活動・取組みへの評価に影響を与えるのは、「下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用」についての社会的貢献度への評価が最も大きい。次いで、「再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」、「温室効果ガスの排出削減」、そして「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」への評価が続く。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-5 総合的な活動や取組みへの評価に影響する新たな事業活動



*=5%有意、**=1%有意、***=0.1%有意

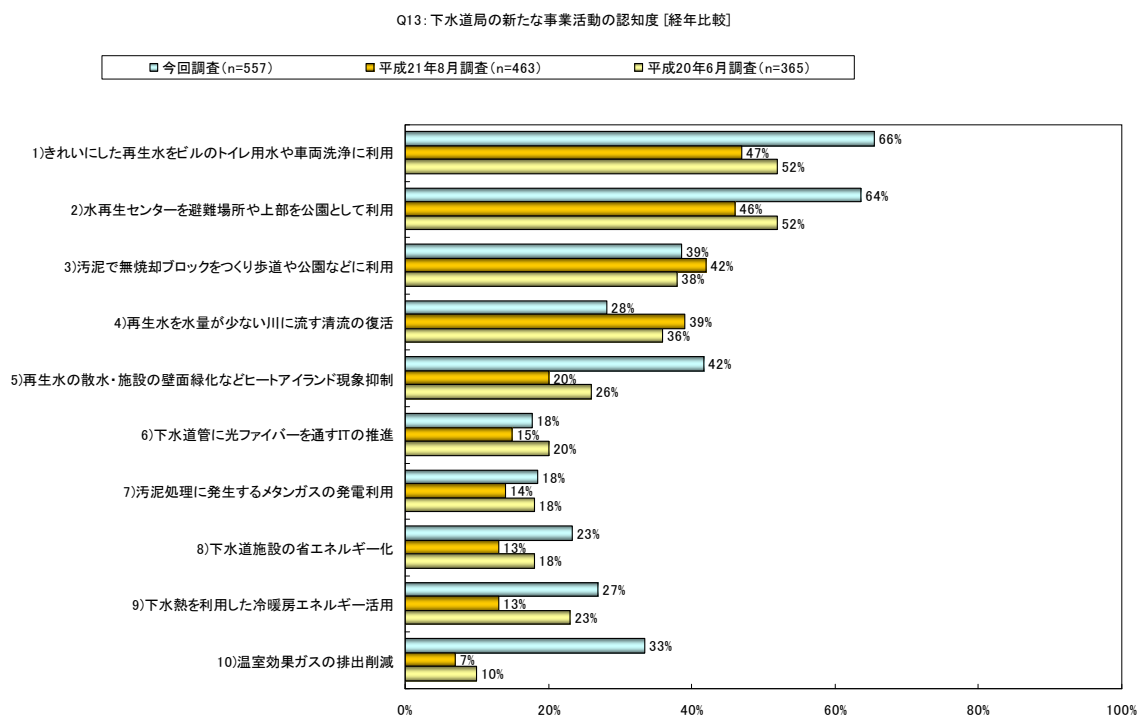
※ 上記は「東京都下水道局の総合的な活動や取組み」を総合的な評価、1)から10)までの新たな事業活動の社会的貢献度を説明変数として設定し、総合評価に対して、新たな個別の事業活動の社会貢献度への評価が与える影響度の強さについて、「重回帰分析」という統計的な手法を用いて明らかにしたものである。

※ 図中の数値は、総合評価に対する影響の大きさを示す値である「標準偏回帰係数」である。この値が大きければ大きいほど、影響が強いことを示す。数値の右肩に付いている*マークは、仮説として「個別の事業活動の貢献度が総合的な活動や取組みに影響がない」ということを設定した場合、実際に観察されたデータが仮説と合っていないということが統計的に検証されることで付与される。つまりこのマークの付与は、「個別の事業活動の貢献度が、総合的な活動や取組みへの評価に影響がある」という傾向を示している。上の例では、「9)下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用」の社会的貢献度評価は、東京都下水道局の総合的な活動・取組みへの評価に「最も影響がある」と解釈される。

2-3. 東京都下水道局の新たな事業活動の認知度〔経年比較〕

- 今年度の調査結果を平成 20 年度および平成 21 年度の結果と比較すると、最も差が大きいのは「温室効果ガスの排出抑制」となっている。また「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」や「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」、「再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制」の認知度の差も大きくなっている。

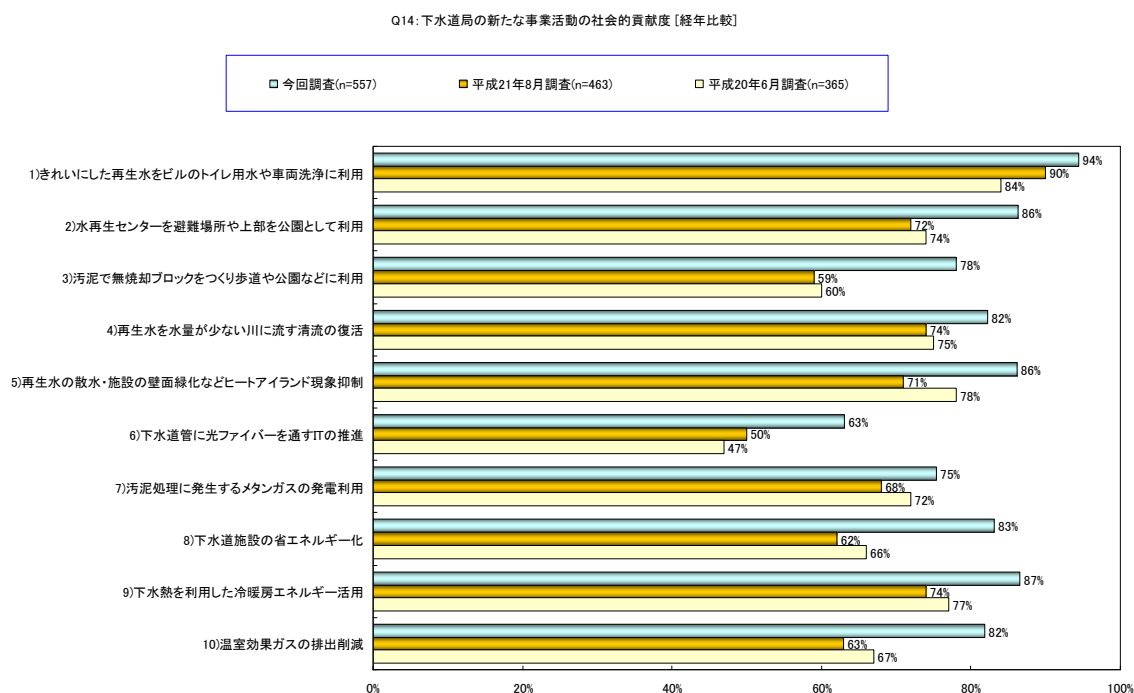
図 2-6 東京都下水道局の新たな事業活動の認知度〔経年比較〕



2-3. 東京都下水道局の新たな事業活動の貢献度〔経年比較〕

- 今回調査では、平成 21 年度や 20 年度と比較して、全ての項目で社会的貢献度への評価が高くなっている。
- 特に「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」の評価は、年々高くなる傾向が見られる。

図 2-7 東京都下水道局の新たな事業活動の貢献度〔経年比較〕



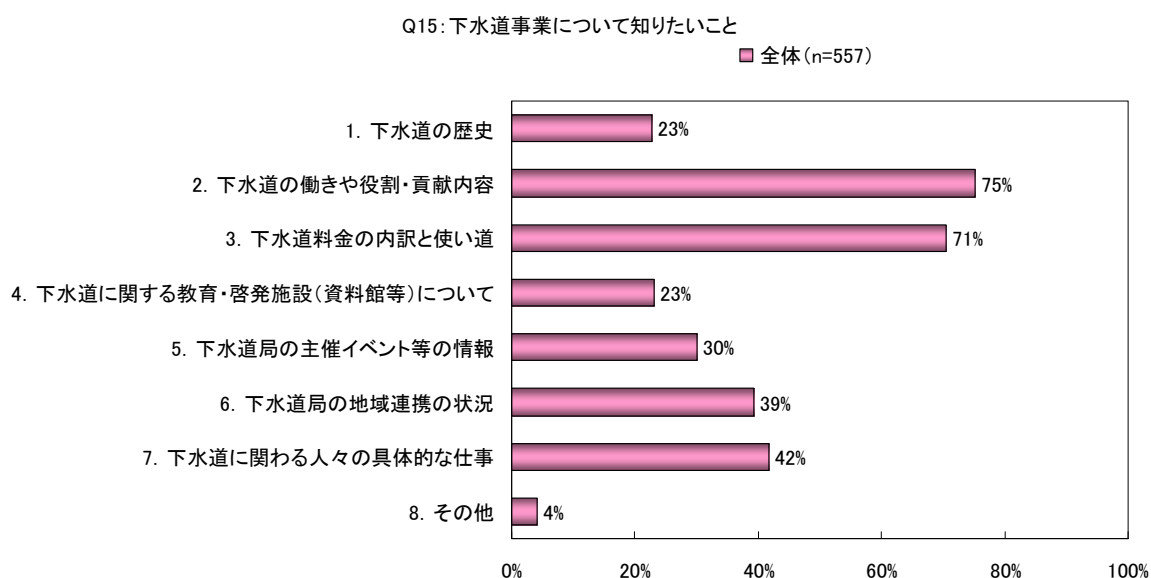
3. 下水道に関するニーズ

3-1. 下水道に関して知りたいと思うこと〔全体〕

- 下水道に関して知りたいことを訊ねたところ、「下水道の働きや役割・貢献内容」と答えた人が75%と最も多く、次いで「下水道料金の内訳と使い道」が71%と続く。

Q15. 下水道事業について、あなたが知りたいと思うことはどのようなことですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図 3-1 下水道に関して知りたいと思うこと〔全体〕



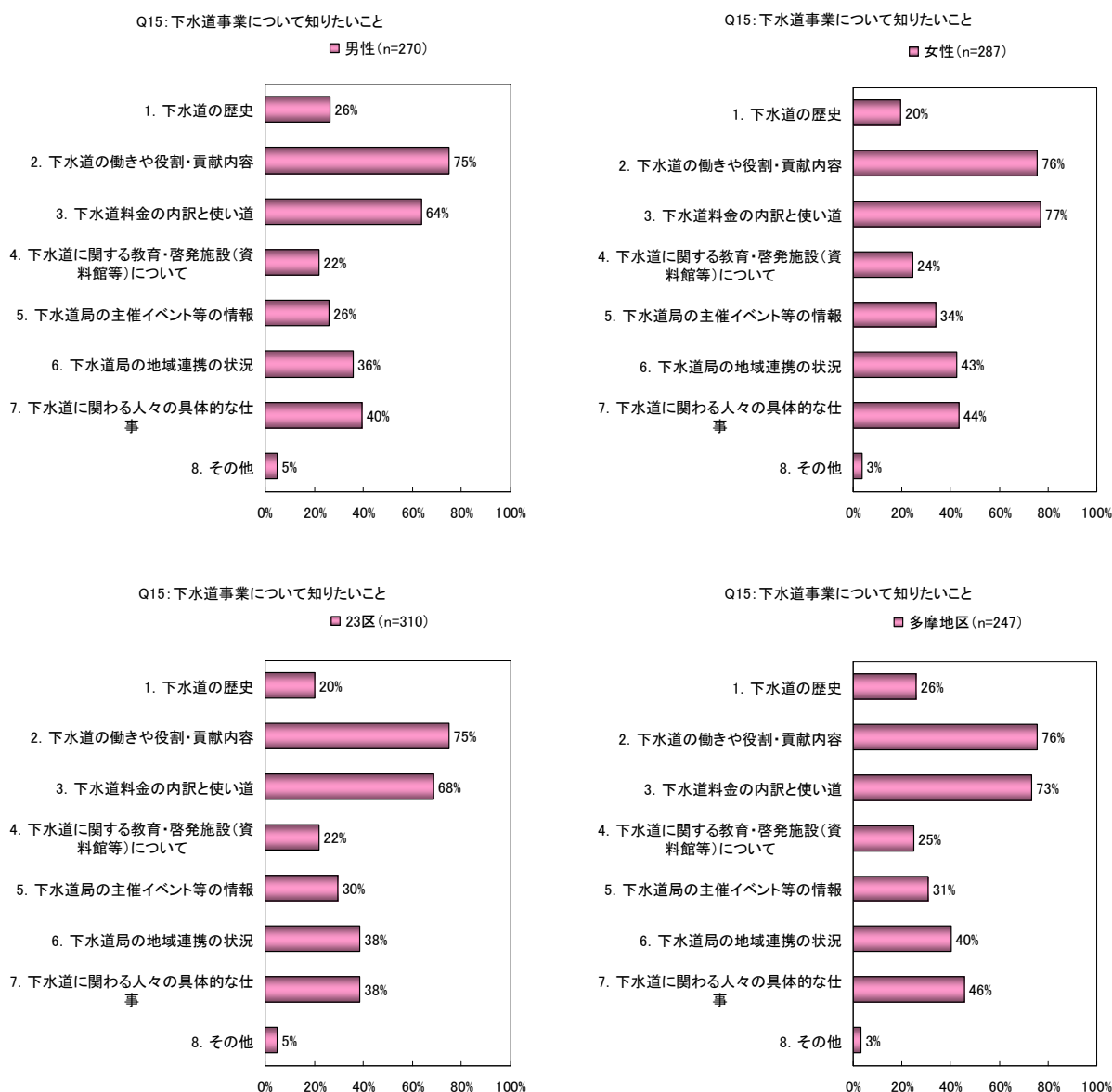
***** 【その他の回答】 *****

1. 地震の時使用できるトイレ
2. 近未来の下水道について
3. 下水道事業のPRが必要。
4. 下水が普及している地域としてない地域の地図
5. 下水道局の体質
6. 下水道の将来ビジョン
7. 環境対策
8. 上の設問に書かれていたような場所の見学
9. 他の自治体の下水道事業
10. 分流方式の実施プログラム
11. 小中学生への啓蒙活動(資料館ではない)
12. ディスポーザの功罪
13. 施設の保全と従事する作業員の安全対策
14. 自宅でできる水のリサイクル
15. 再生水や熱利用の展望について
16. Q13の普及率と効果
17. 今後の補強と更なる改善策
18. 発電やエネルギー活用についての書齋
19. 海外の下水道
20. Q14のようなE C Oや省エネ関連事業
21. 災害および環境対策
22. 下水道事業の新たな活動や取り組みの中で区民が役に立てること

3-1. 下水道に関して知りたいと思うこと〔性別・地域別〕

- 男女別に見ると、女性は男性よりも「下水道料金の使い道」について知りたいと考える割合が多い（女性は男性よりも知りたいと思う人の割合が13ポイントも高い）。
- 地域別に見ると、全ての項目について多摩地区の方が高くなっている。

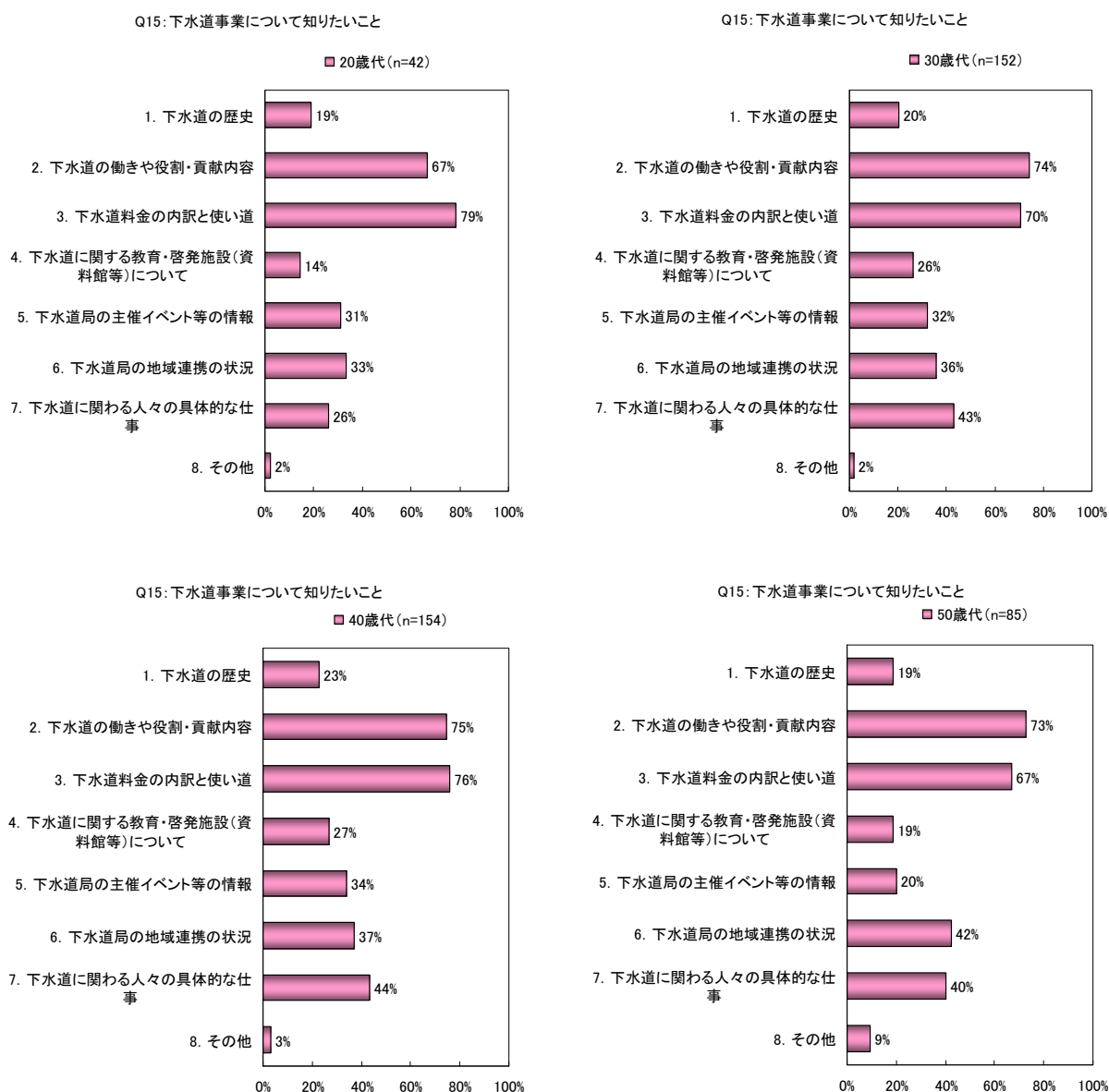
図 3-2 下水道に関して知りたいと思うこと〔性別・地域別〕



3-1. 下水道に関して知りたいと思うこと〔年代別〕

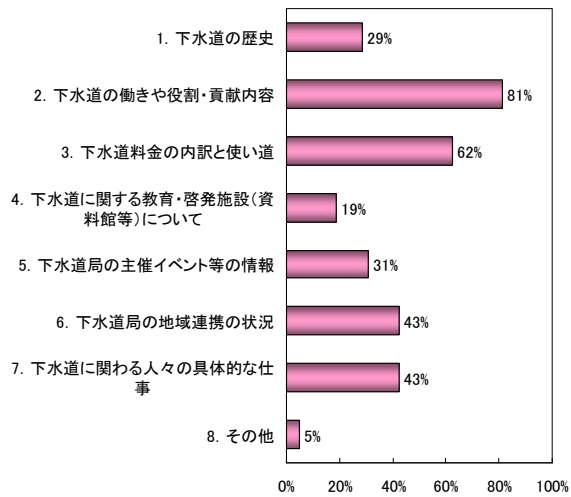
- 年代別では、特に大きな差異は見られないが、「下水道の働きや役割・貢献内容」および「下水道料金の内訳と使い道」は共通の関心事項となっている。
- 特に70歳以上は、他の世代よりも「下水道局の地域連携の状況」を知りたいと思う人の割合が多い。

図 3-3 下水道に関して知りたいと思うこと〔年代別〕



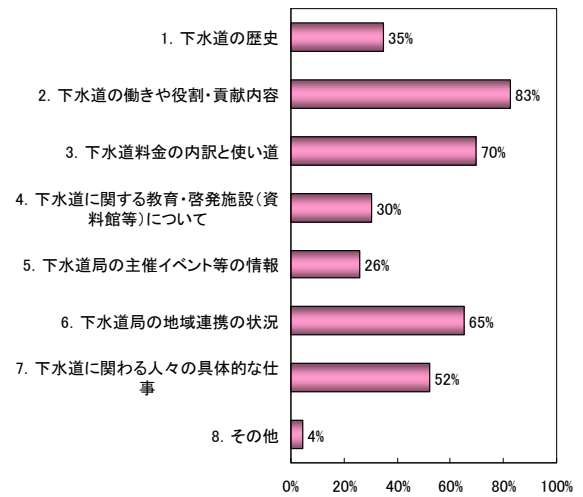
Q15:下水道事業について知りたいこと

■ 60歳代(n=101)



Q15:下水道事業について知りたいこと

■ 70歳以上(n=23)



4. 下水道の課題

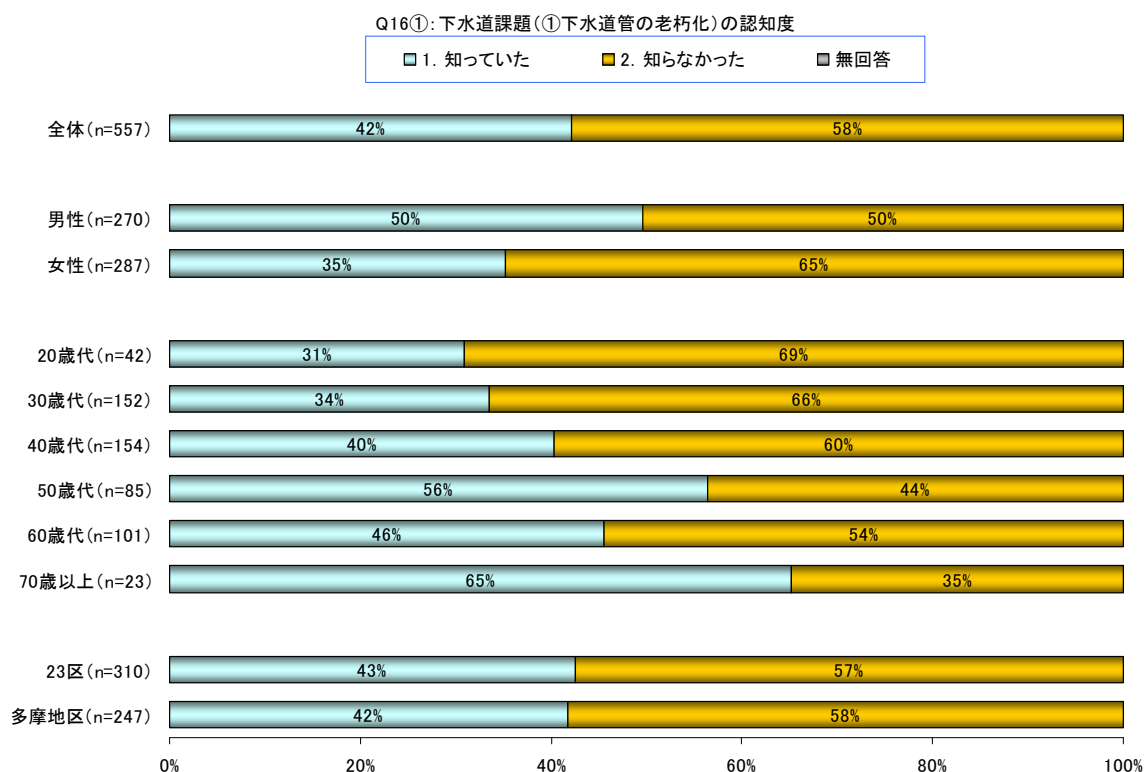
4-1. 下水道の課題①「下水道管の老朽化」(認知度)

- 全体では、「下水道管の老朽化」を知っている人の割合は42%で、知らなかった人の方が多くなっている。
- 性別で見ると、男性の方が「知っていた」人の割合が多く、女性と比較して15ポイントもの大きな差がある。
- 年代別では、年代が上がるにつれて認知している人の割合が多くなっている（但し60歳代を除く）。
- 地域別では、23区の方の認知度が多摩地区よりも1ポイント上回る。

Q16. 下水道管は、耐用年数が50年とされており、古い下水道管は道路の陥没事故につながるため、取替えや補修が必要です。東京都の下水道は整備を始めてから既に100年以上が経過し、現在でも一部の下水道管は耐用年数を越えています。また、高度経済成長期以降（1960年代以降）に整備した大量の下水道管が間もなく耐用年数に達しようとしています。

①あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図 4-1 「下水道管の老朽化」の認知度



4-2. 下水道の課題①「下水道管の老朽化」(感想)

- 「下水道管の老朽化」について、「とても深刻な問題である」と認識している人は、全体で 80%であり、「すこし深刻な問題だと思う」という認識の人と合わせると、実に 99%の人が深刻な問題であるとの認識を持っている。
- 性別では、女性の方が男性よりも「とても深刻な問題である」と認識する人の割合が 7 ポイント上回る。
- 年代別では、50 歳代までは年代が上がるにつれて「とても深刻な問題である」と認識する人の割合が多い。
- 地域別では、多摩地区の方が 23 区よりも「とても深刻な問題である」と認識する人の割合が 1 ポイント上回る。

Q16. 下水道管は、耐用年数が 50 年とされており、古い下水道管は道路の陥没事故につながるため、取替えや補修が必要です。東京都の下水道は整備を始めてから既に 100 年以上が経過し、現在でも一部の下水道管は耐用年数を越えています。また、高度経済成長期以降（1960 年代以降）に整備した大量の下水道管が間もなく耐用年数に達しようとしています。

②このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-2 「下水道管の老朽化」に対する感想



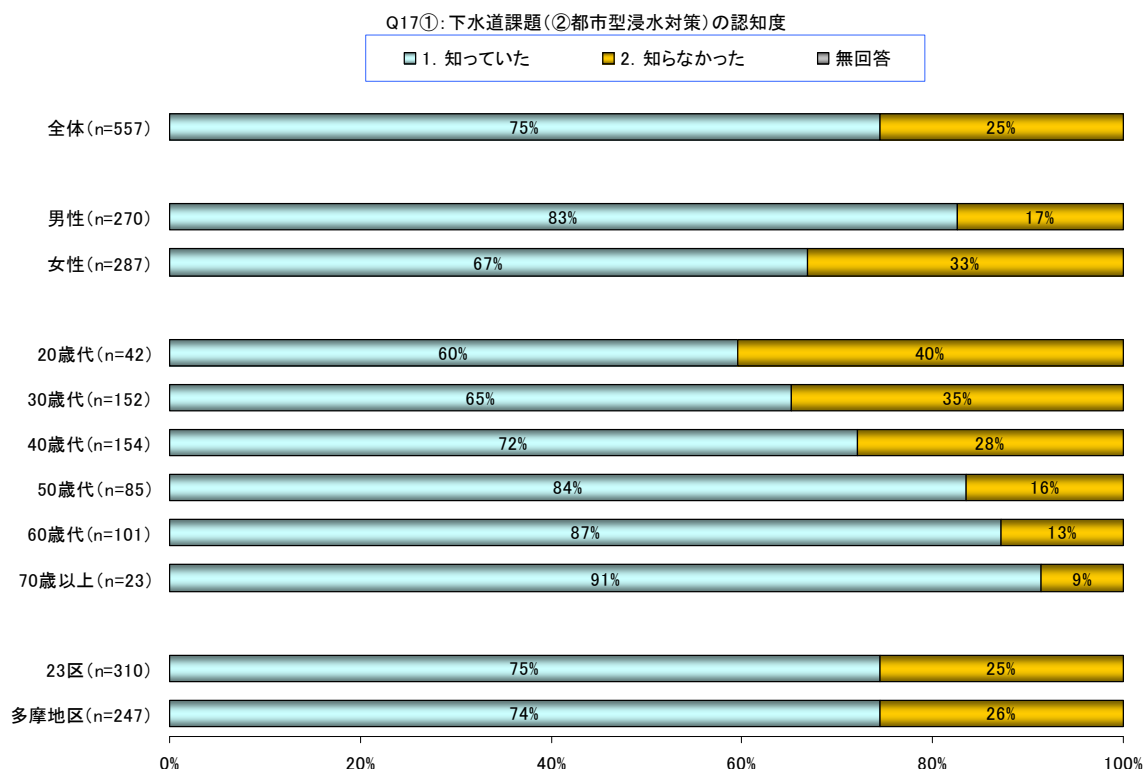
4-3. 下水道の課題②「都市型浸水対策」(認知度)

- 全体では、「都市型浸水対策」を認知している人は75%である。
- 性別では、男性の認知度の方が高く、女性と比較すると16ポイントの差がある。
- 年代別では、年代が上がるにつれて認知度が上がっている(70歳以上では91%となっている)。
- 地域別では、23区の認知度の方が多摩地区よりも1ポイント上回る。

Q17. 都市化によって、道路等の舗装が進み、雨水が地面に浸透しにくくなった結果、下水道に流れ込む雨水の量が増大しました。これにより、既に下水道が整備された東京都でも、短時間に猛烈な集中豪雨があると、下水道管やポンプ所の処理能力を超えて、都市型の浸水が発生することがあります。

①あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい(単一回答)。

図 4-3 「都市型浸水対策」の認知度



4-4. 下水道の課題②「都市型浸水対策」(感想)

- 「都市型浸水対策」について、「とても深刻な問題である」と認識している人は、全体で80%であり、「すこし深刻な問題だと思う」という認識の人と合わせると、ほぼ全ての人が回答している。
- 性別では、女性の方が「とても深刻な問題である」と感じている。
- 年代別では、50歳代以降は年代が上がるにつれて、深刻な問題との認識を持つ人の割合が減少する。
- 地域別では、多摩地区の方が深刻な問題である（とても深刻な問題だと思う＋すこし深刻な問題だと思う）と認識する人の割合が1ポイント高い。

Q17. 都市化によって、道路等の舗装が進み、雨水が地面に浸透しにくくなった結果、下水道に流れ込む雨水の量が増大しました。これにより、既に下水道が整備された東京都でも、短時間に猛烈な集中豪雨があると、下水道管やポンプ所の処理能力を超えて、都市型の浸水が発生することがあります。

②このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-4 「都市型浸水対策」に対する感想



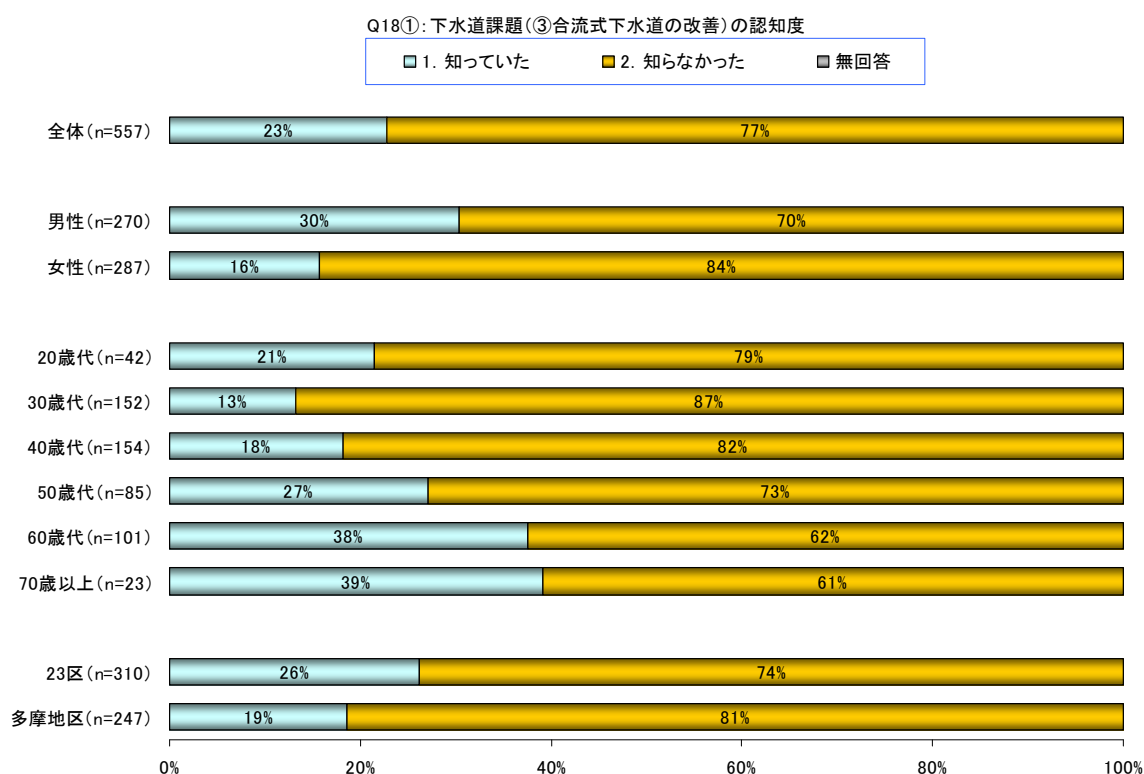
4-5. 下水道の課題③「合流式下水道の改善」(認知度)

- 全体では、「合流式下水道の改善」について認知している人は 23%と低い状況である。
- 性別で見ると、女性の認知度は 16%程度であり、男性と比較すると 14 ポイントの差がある。
- 年代別では、20 歳代を除き、年代が上がるにつれて認知度はアップしているが、最高でも 70 歳以上の 39%が最も大きいため、現状では低い状況である。
- 地域別では、23 区の方が多摩地区よりも 7 ポイント認知度が高い。

Q18. 東京都の下水道は、主に「合流式下水道」と呼ばれる、汚水と雨水が同じ下水道管を流れる方式で整備されています。この方式は、大雨が降ると下水の水量が一気に増大するため、水再生センターに流入する前に河川へ放流せざるを得なくなり、雨水で薄まった汚水の一部が、そのまま河川に流れてしまうということが起こります。

①あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図 4-5 「合流式下水道」の認知度



4-6. 下水道の課題③「合流式下水道の改善」(感想)

- 「合流式下水道の改善」について、「とても深刻な問題である」と認識している人は、全体で 66%であり、「すこし深刻な問題だと思う」という認識の人と合わせると 97%となる。
- 性別では、女性の方が「とても深刻な問題である」と感じている。
- 年代別では、特に 70 歳以上が「深刻な問題」との認識を持つ人の割合が最多であるが、20 歳代が最小となる。
- 地域別では、多摩地区の方が 23 区よりも「とても深刻な問題である」認識する割合が 5 ポイント多い。

Q18. 東京都の下水道は、主に「合流式下水道」と呼ばれる、汚水と雨水が同じ下水道管を流れる方式で整備されています。この方式は、大雨が降ると下水の水量が一気に増大するため、水再生センターに流入する前に河川へ放流せざるを得なくなり、雨水で薄まった汚水の一部が、そのまま河川に流れてしまうということが起こります。

②このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-6 「合流式下水道」に対する感想

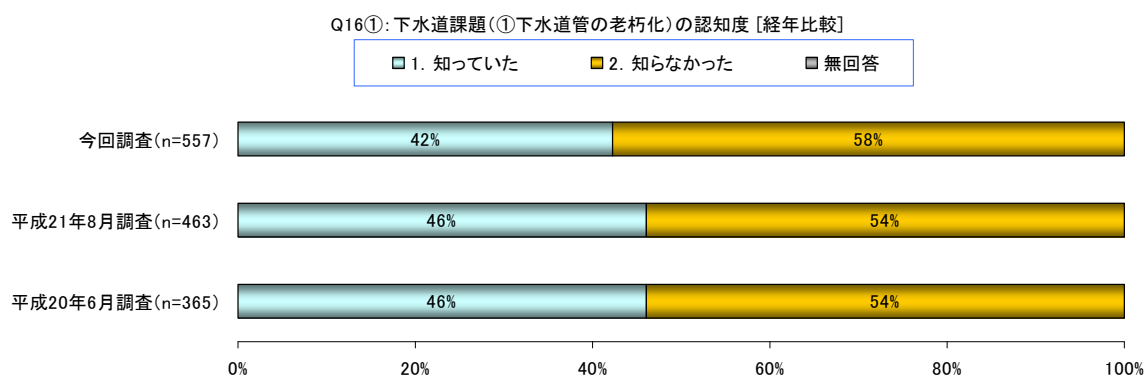


4-7. 下水道の課題の認知度〔経年比較〕

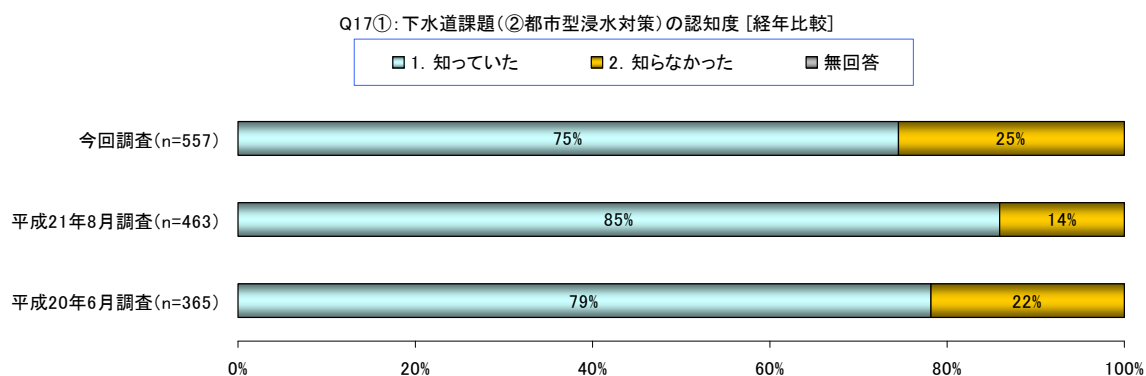
- 下水道管の老朽化に関する認知度は、平成 21 年度より微減傾向である。
- 都市型浸水に関する認知度は、平成 21 年よりも大幅に下がっている。
- 合流式下水道に関する認知度は、平成 21 年と比較すると、今回調査では極めて低い結果となっている。

図 4-7 下水道の課題の認知度〔経年比較〕

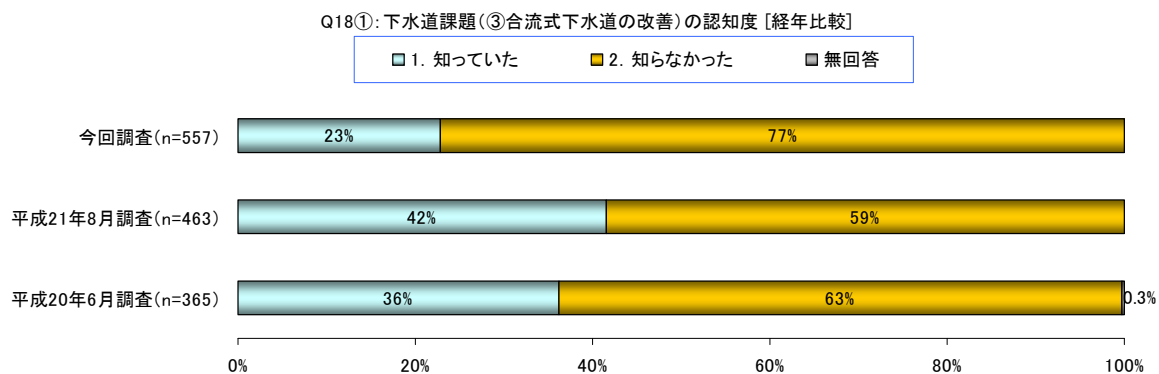
■ 下水道管の老朽化



■ 都市型浸水



■ 合流式下水道

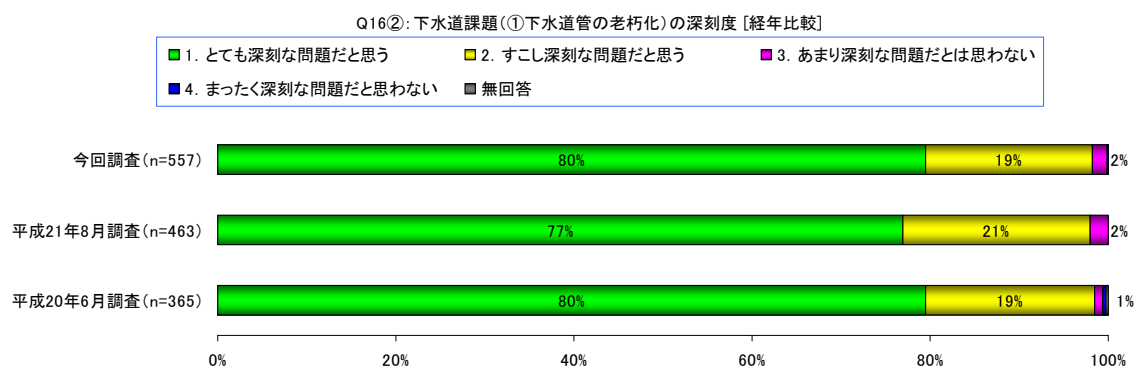


4-8. 下水道の課題に対する感想〔経年比較〕

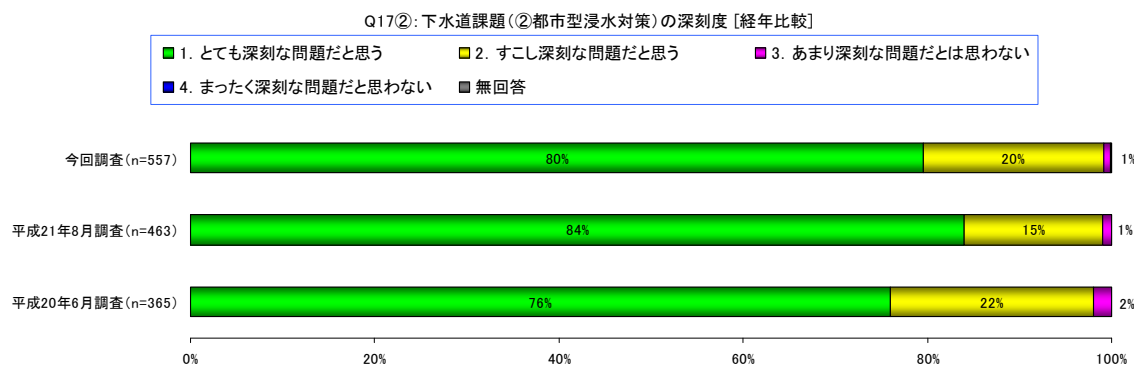
- 「下水道管の老朽化」は、前回よりも「とても深刻な問題だと思う」と回答する人が若干増加している。
- 「都市型浸水」については、前回よりも「とても深刻な問題だと思う」と回答する人の割合は減少している。
- 「合流式下水道」は、「とても深刻な問題だと思う」割合が年々増加している。

図 4-8 下水道の課題に対する感想〔経年比較〕

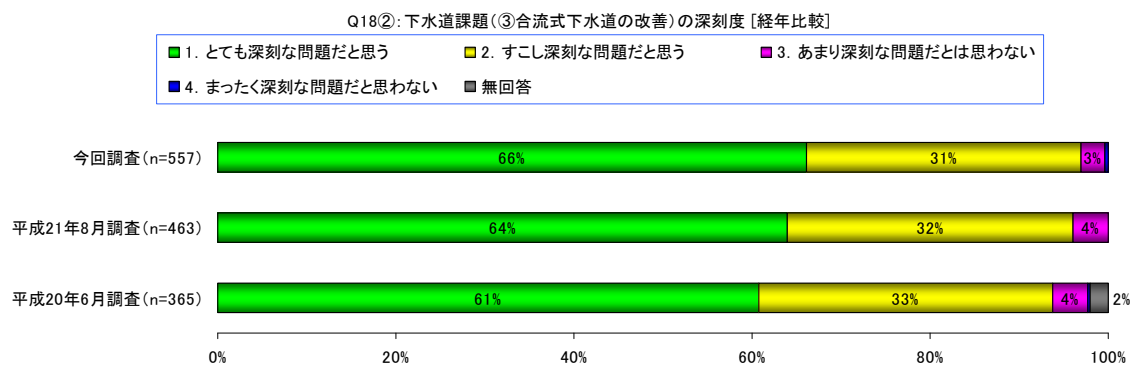
■ 下水道管の老朽化



■ 都市型浸水



■ 合流式下水道

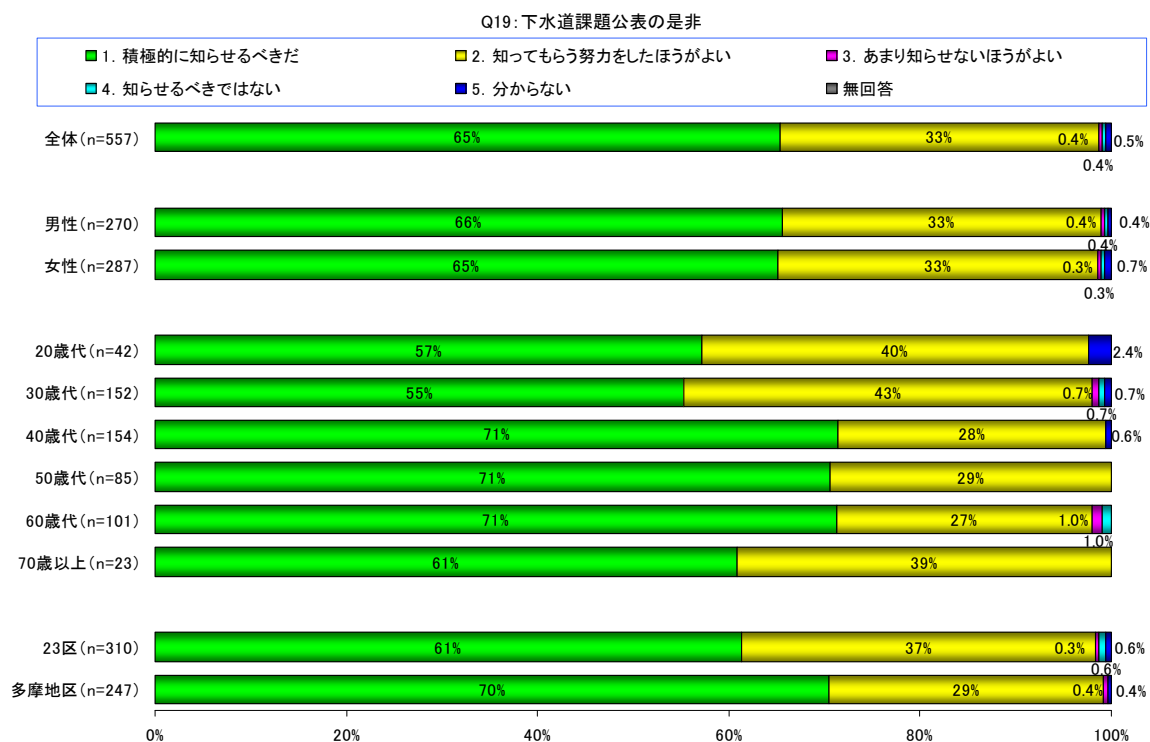


4-9. 下水道が抱える課題の公表について

- 東京都の下水道が抱える課題の公表については、「積極的に知らせるべきだ」65%、「知ってもらおう努力をしたほうがよい」33%と、概ね全員が知らせた方がよいと思っている。
- 男女別では、男性の方が「積極的に知らせるべきだ」と考えている人の割合が1ポイント高い。
- 年代別では、「積極的に知らせるべきだ」と考えている人は、相対的に40歳代、50歳代、60歳代に多い。
- 地域別には、「積極的に知らせるべきだ」と考えている人は多摩地区に多い。

Q19. 上記（下水道管の老朽化）、（都市型浸水対策）、（合流式下水道の改善）でおうかがいした、東京都の下水道における課題について、次の中からあなたのお考に近いと思うものを一つだけお答え下さい（単一回答）。

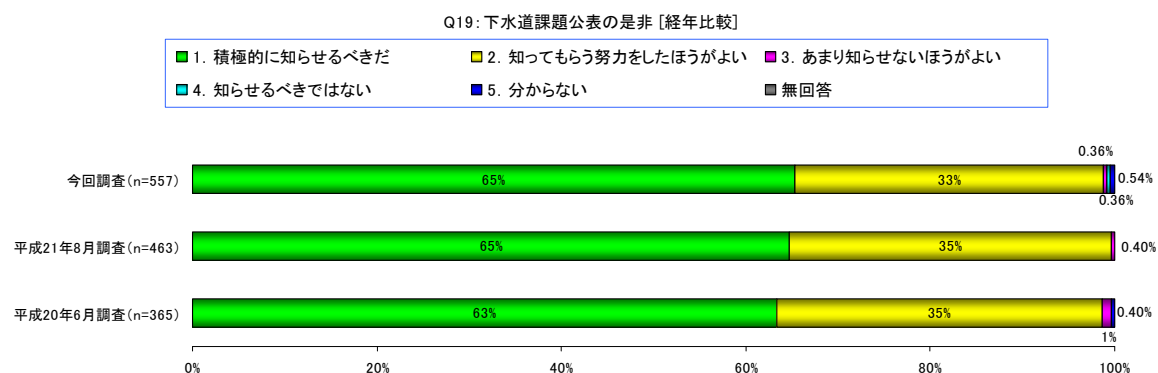
図 4-9 課題の公表についての是非



4-10. 下水道が抱える課題の公表について〔経年比較〕

- 課題を公表することについては、経年で見ても「積極的に知らせるべきだ」との回答が60%台で推移している。

図 4-10 課題の公表についての是非〔経年比較〕



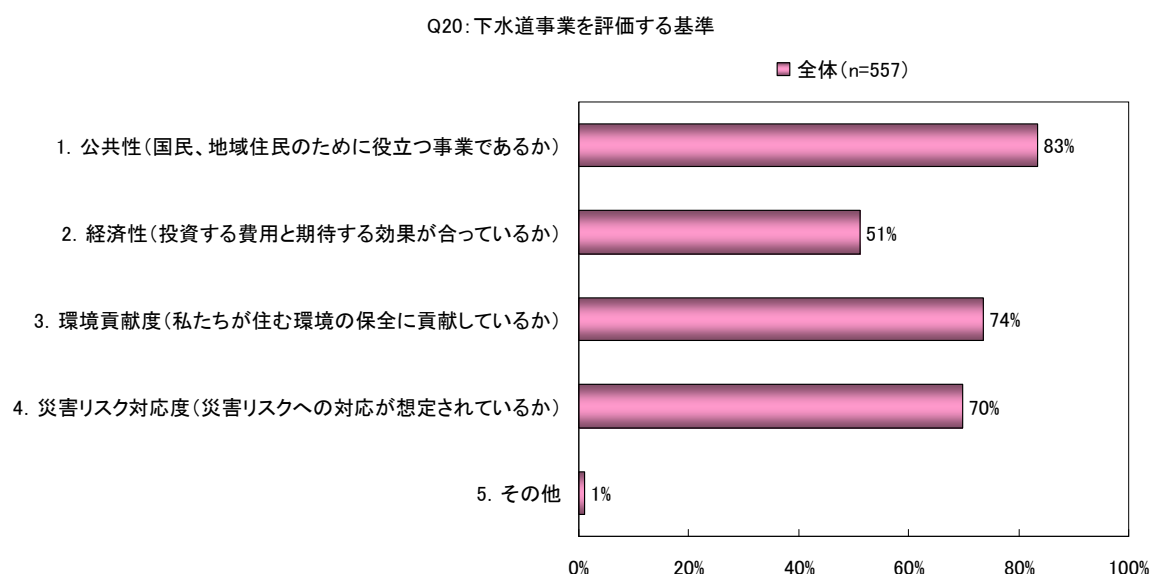
5. 下水道事業の評価基準

5-1. 下水道事業を評価する基準〔全体〕

- 最も多いのは「公共性(国民、地域のために役立つ事業であるか)」で 83%、次いで「環境貢献度(私たちが住む環境の保全に貢献しているか)」で 74%、そして「災害リスク対応度(災害リスクへの対応が想定されているか)」70%、最後に「経済性(投資する費用と期待する効果が合っているか)」の 51%と続く。下水道事業の評価は、経済性(金額)の観点からではなく、公共性や環境貢献度などの観点が評価基準として重視される。

Q20. あなたが下水道事業を評価する基準で重視しているのは、どのようなことですか？
以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい（複数回答）。

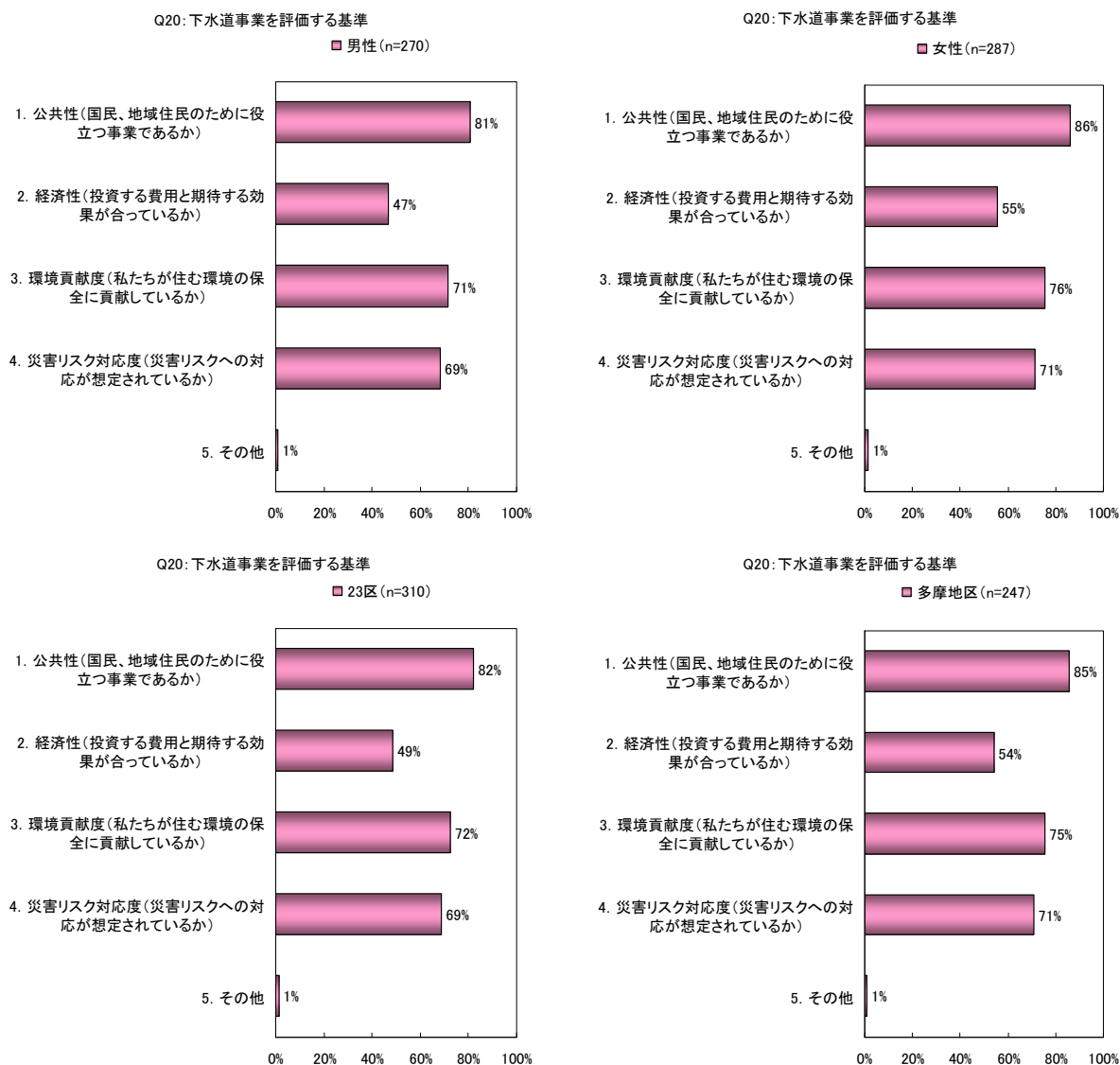
図 5-1 下水道事業を評価する基準〔全体〕



5-2. 下水道事業を評価する基準〔性別・地域別〕

- 性別・地域別ともに、経済性において差が見られる。性別では女性の方が、地域別では多摩地区の方が重視する割合が多い。

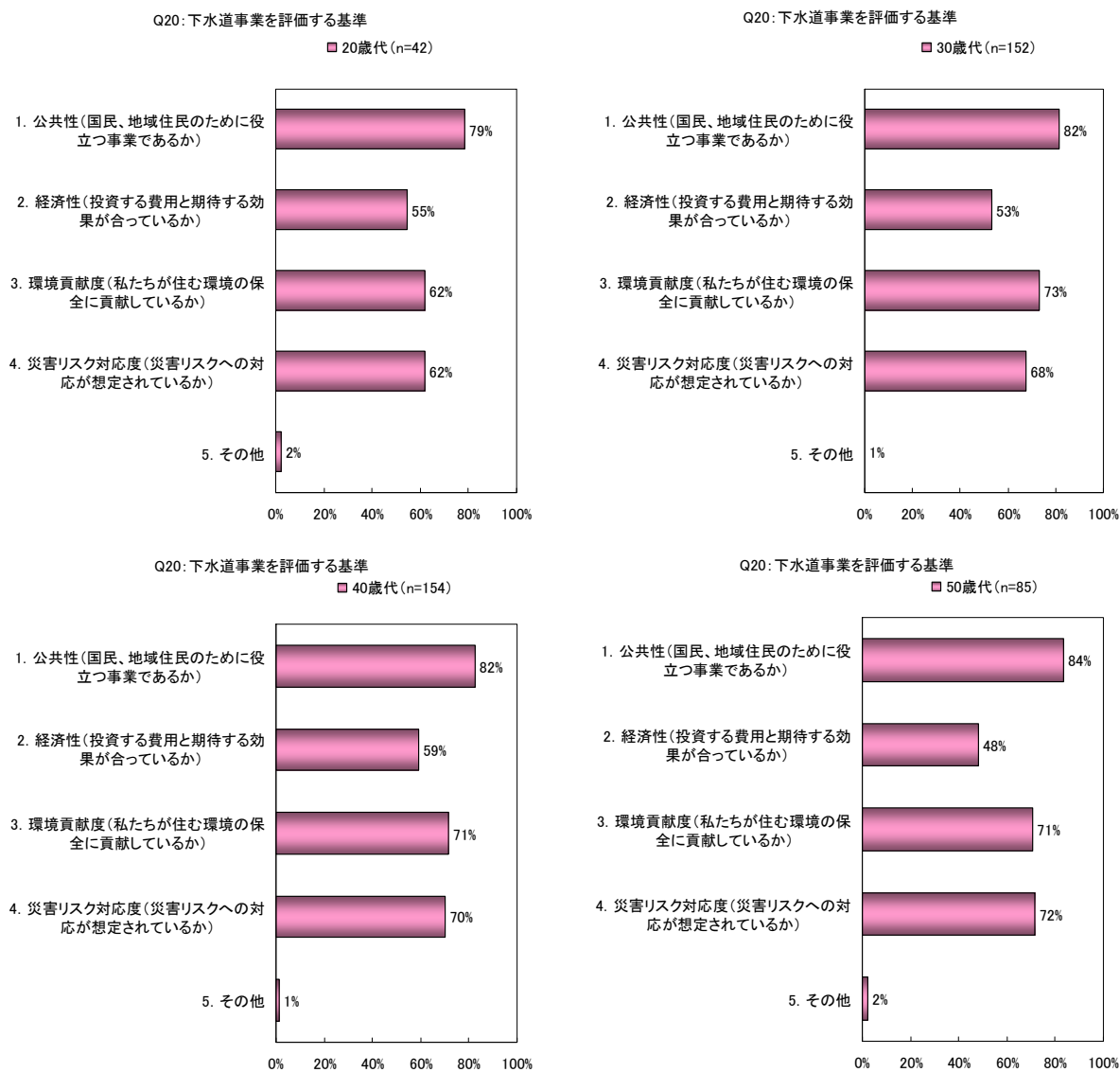
図 5-2 下水道事業を評価する基準〔性別・地域別〕



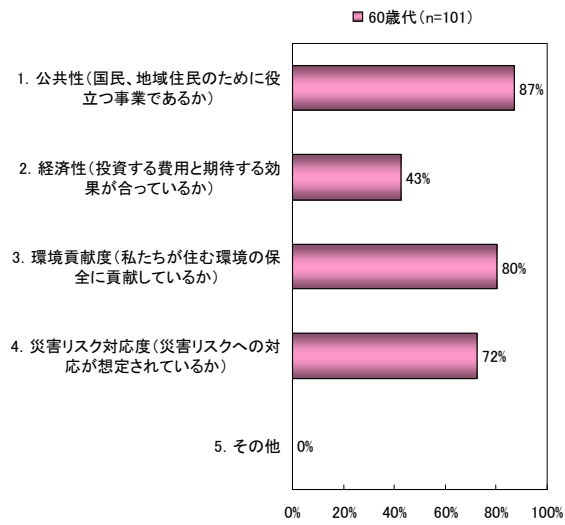
5-3. 下水道事業を評価する基準〔年代別〕

- 年代別では、年代が上がるにつれて、特に「公共性(国民、地域住民のために役立つ事業であるか)」の観点を重視する傾向が強まる。

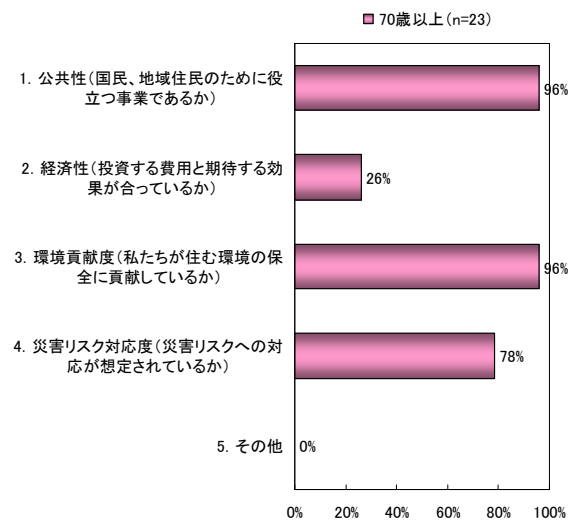
図 5-3 下水道事業を評価する基準〔年代別〕



Q20:下水道事業を評価する基準



Q20:下水道事業を評価する基準



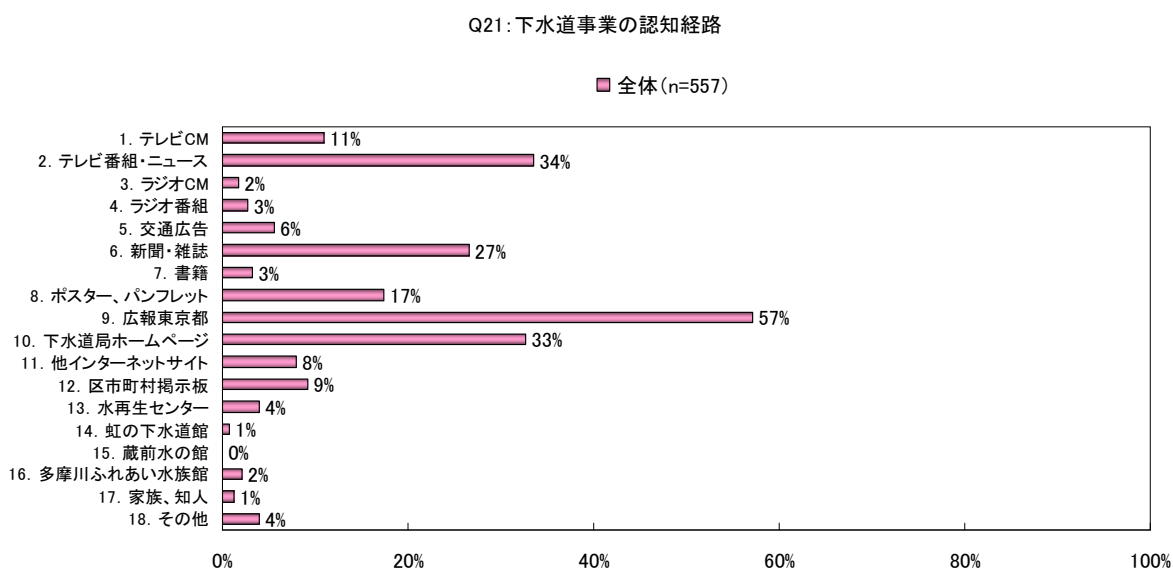
6. 下水道事業の認知経路

6-1. 下水道事業の認知経路〔全体〕

- 全体では、局や下水道事業の内容について認知する経路として最も多いのは「広報東京都」であり 57%、次いで「テレビ番組・ニュース」(34%)や「下水道局ホームページ」(33%)などの媒体である。

Q21. あなたは東京都下水道局や下水道事業の内容について、どのようなところから知ることが多いですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図 6-1 下水道事業の認知経路



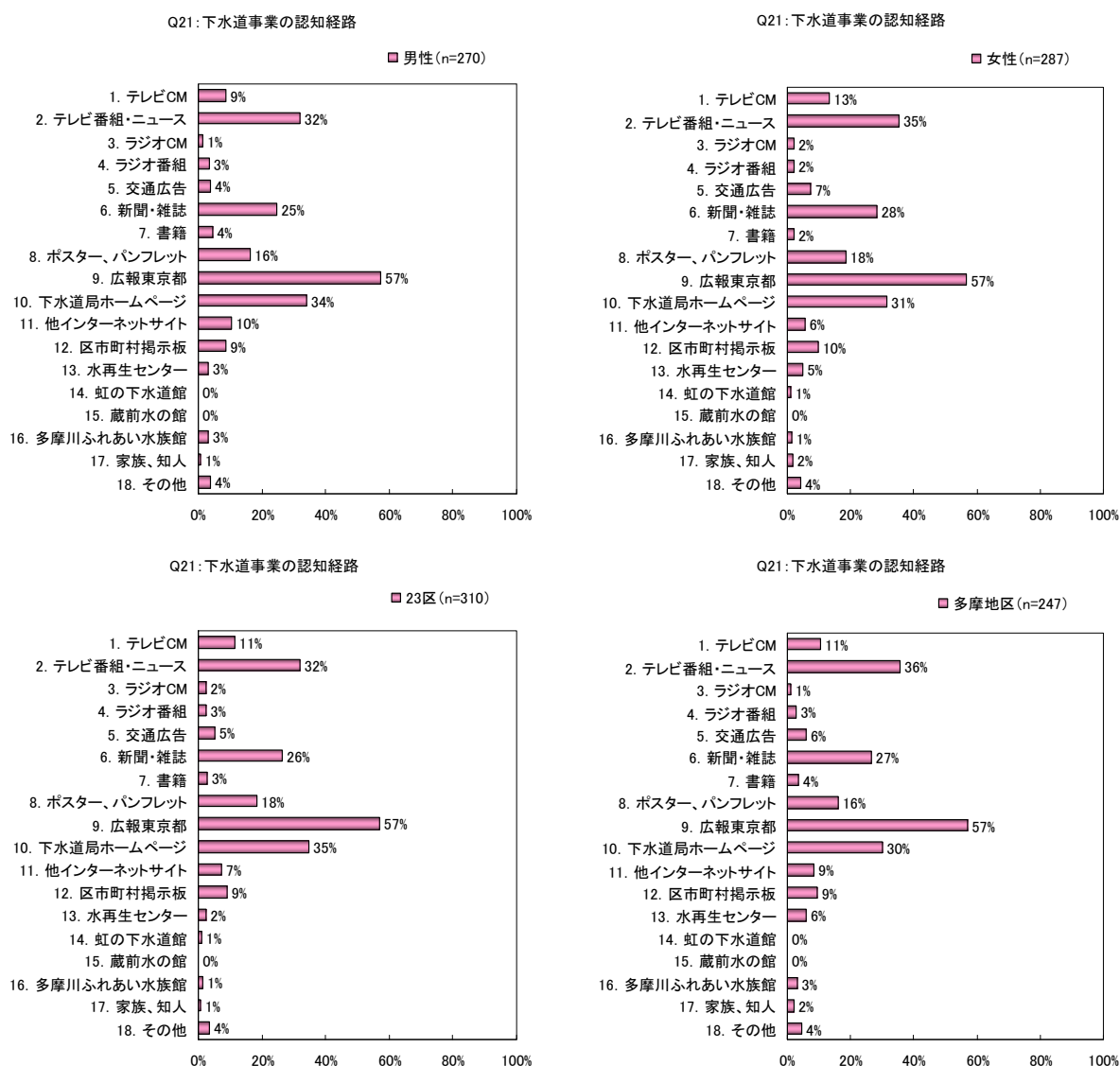
***** 【その他の回答】 *****

1. 小平ふれあい下水道館 (3)
2. 知る機会が全くない (3)
3. こどもから（授業で勉強して） (2)
4. 仕事の関係
5. 学生時代に学んだこと
6. 日常の場面場面で見る
7. このアンケート
8. 区のお祭り
9. 区・市報、自治体報（調布市報等）
10. イベント会場等
11. 東京都水道局「水道ニュース」
12. 断片的にいろいろ
13. 環境学習の仲間

6-2. 下水道事業の認知経路〔性別・地域別〕

■ 性別・地域別では、傾向に大きな差異は見られない。

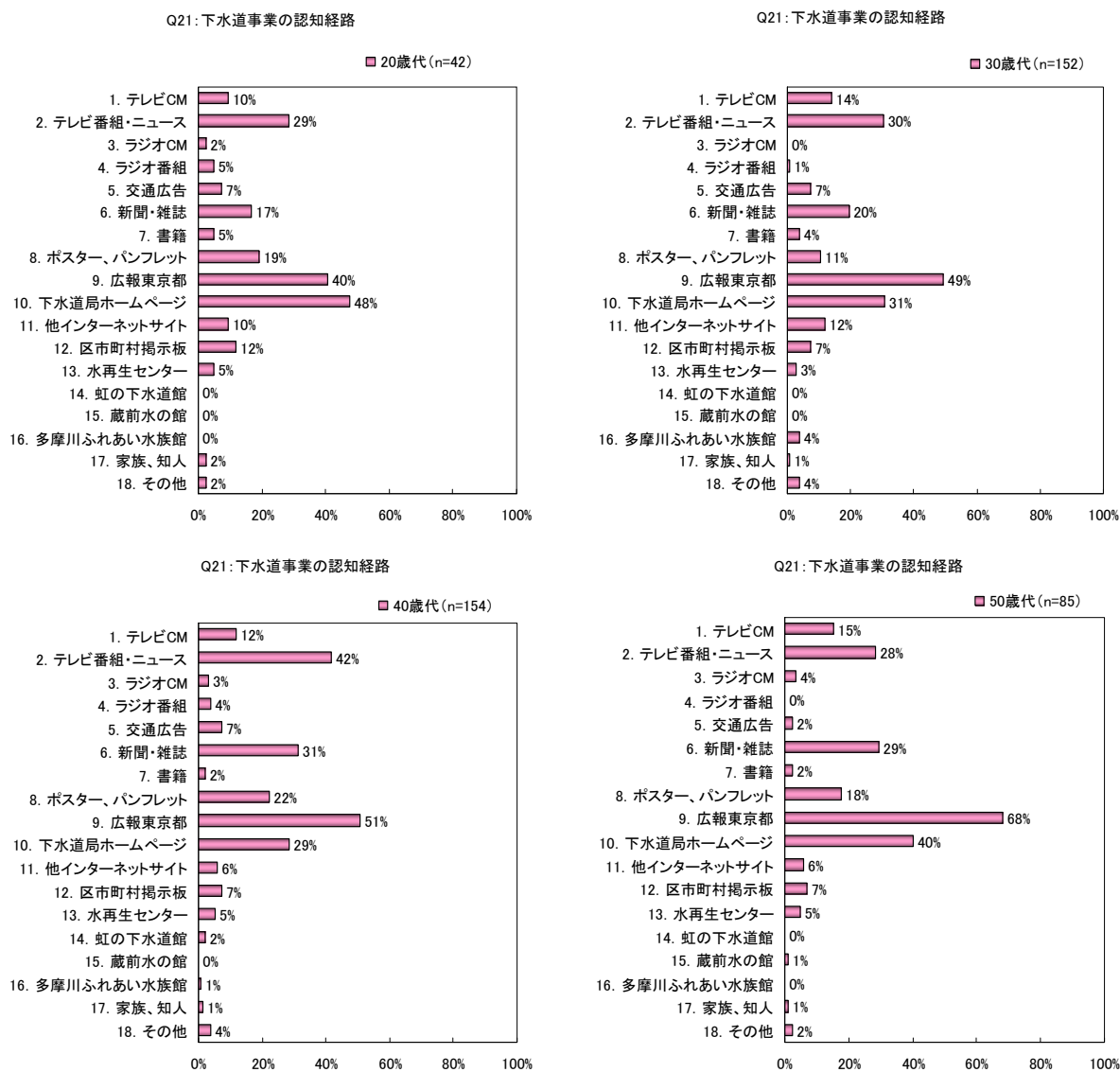
図 6-2 下水道事業の認知経路〔性別・地域別〕



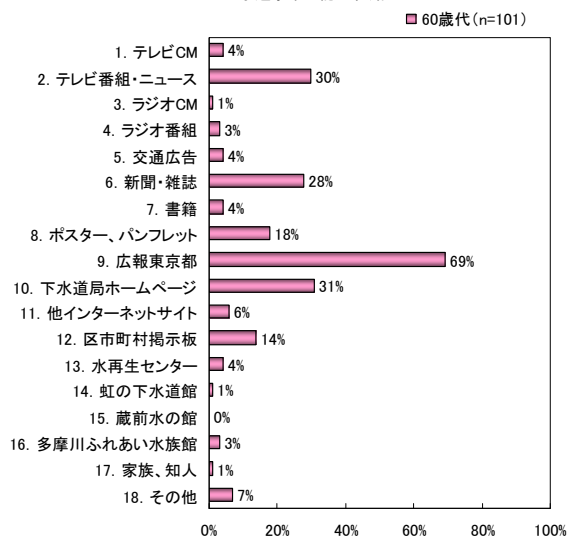
6-3. 下水道事業の認知経路〔年代別〕

- 年代別では、年代が上がるにつれて「広報東京都」を認知経路とする人の割合が多くなる。20歳代では40%程度であるが、70歳以上になると87%となり9割近い。

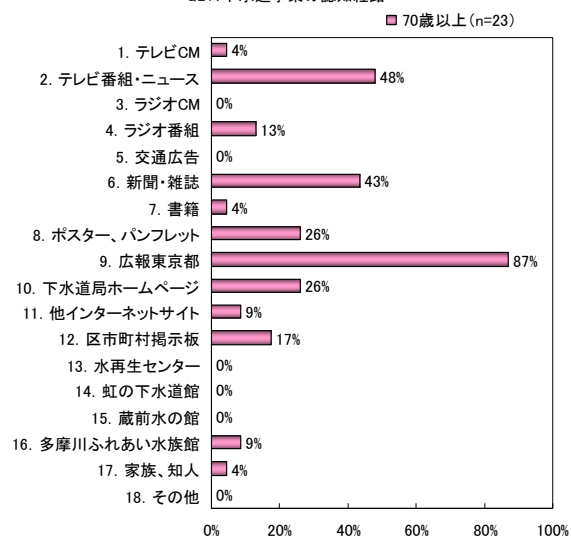
図 6-3 下水道事業の認知経路〔年代別〕



Q21:下水道事業の認知経路



Q21:下水道事業の認知経路

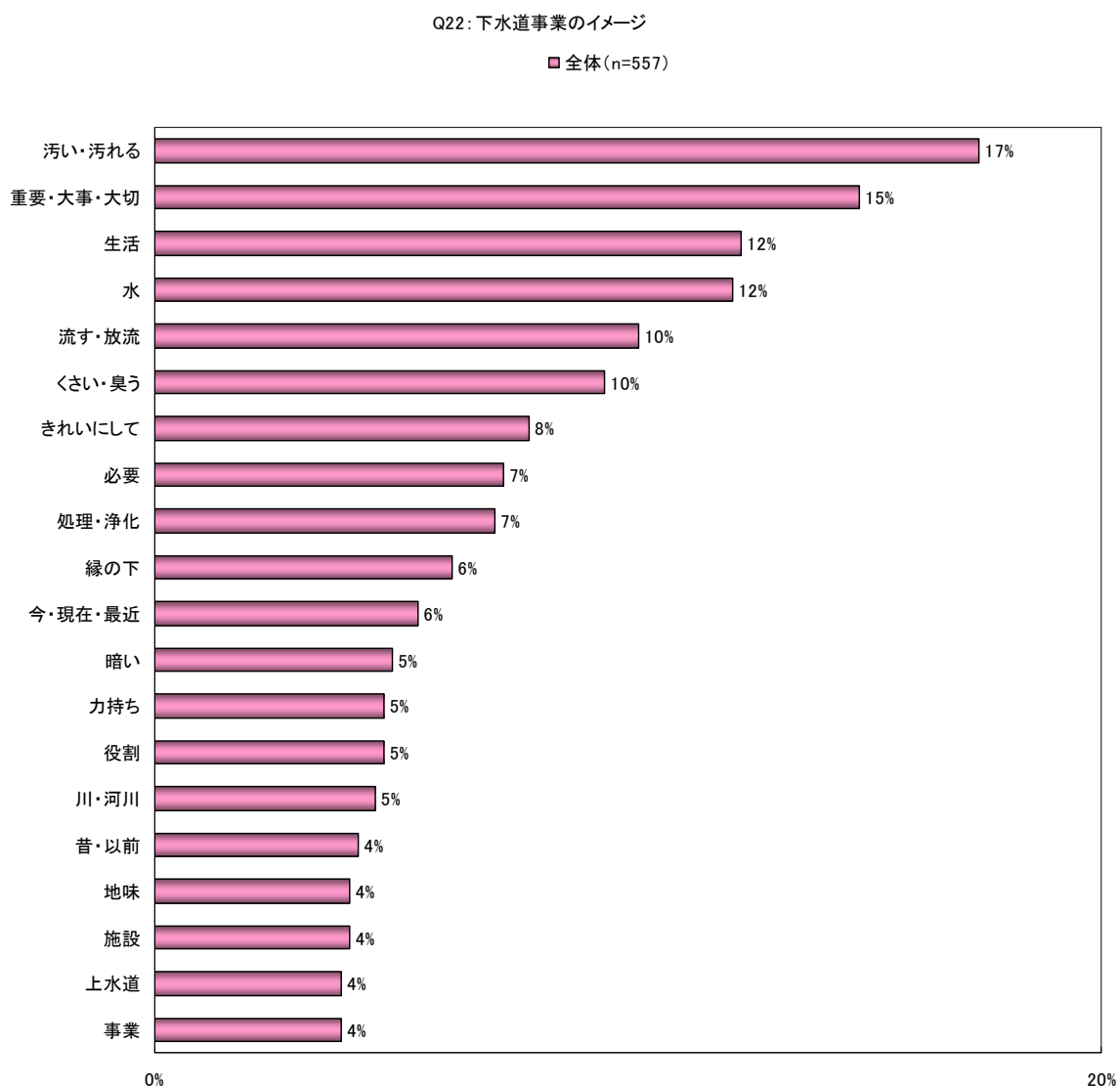


7. 下水道事業のイメージ

- 下水道事業のイメージとして挙げられた語句の内、最も多かったのが「汚い・汚れる」で全体の 17%が回答していた。
- 次いで多かったのが、「重要・大事・大切」の 15%。「生活」、「水」もそれぞれ 12%の回答になっており、「汚いものをきれいにする、生活をしていく上で重要なもの」と認識している人が多かった。

Q22. あなたは「下水道」に対して、どのようなイメージをお持ちですか？思い浮かぶ印象・イメージについて、どのようなことでも結構ですのでご自由にお答え下さい(自由回答)。

図 7-1 下水道事業のイメージ



※ 上記は、表記されている単語の回答者の割合（率）である。

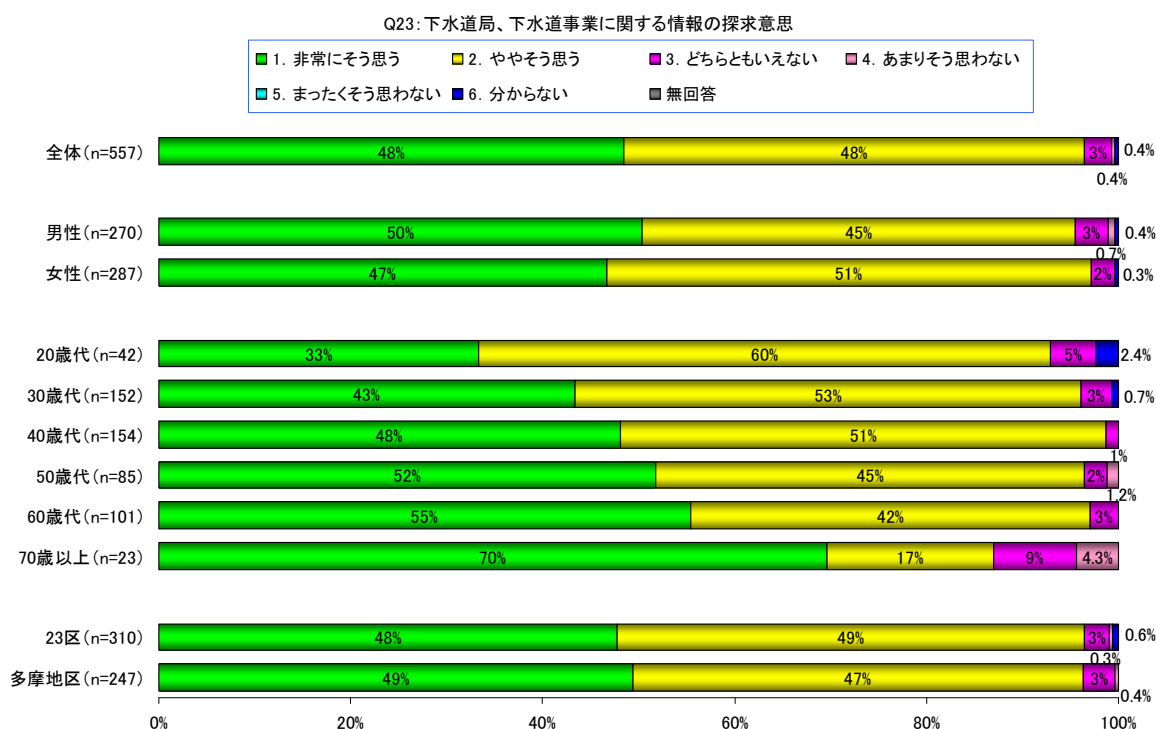
8. 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

8-1. 下水道事業に関する情報の探求意思

- アンケートを回答した後に、さらに詳細な情報を知りたいと答えた人の割合は「非常にそう思う」が48%であり、「ややそう思う」(48%)と合わせると、実に96%の人が知りたいと考えている。
- 性別では、女性の方がそう思う（非常にそう思う+ややそう思う）割合は多いが、「非常にそう思う」割合は男性の方が3ポイント高い。
- 年代別で見ると、年代が上がるにつれて「非常にそう思う」割合が多くなる。70歳以上では70%という割合となっている。
- 地域別では、23区の方が多摩地区よりもそう思う（非常にそう思う+ややそう思う）割合が多い。

Q23. あなたは、下水道局や下水道事業について、さらに詳しく知りたいと思いましたか（単一回答）？

図 8-1 下水道局、下水道事業の情報の探求意思

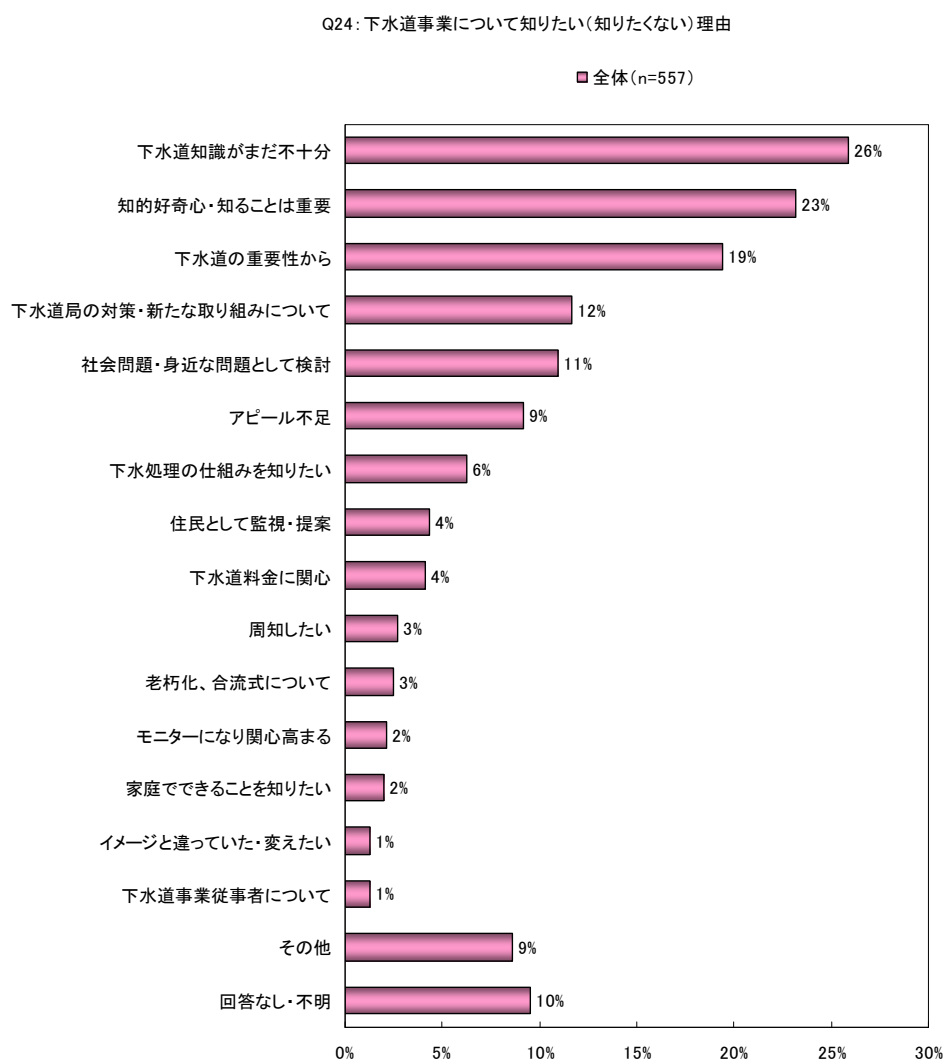


8-2. 下水道事業に関する情報の探求意思（理由）

- 下水道事業について知りたい（知りたくない）理由としては、「下水道知識がまだ不十分」が26%と最も多かった。
- 次いで、「知的好奇心・知ることは重要」が23%、「下水道の重要性から」が19%と「重要な下水道事業について知ることで支えていく」という意見が多かった。
- 「下水道局の対策・新たな取り組みについて」も注目が高まっていた。
- パーセンテージとしては低いながらも、前出の設問で、課題として「老朽化」、「合流式」を挙げているだけに、このことをさらに深く知りたいという意見もあった。

Q24. 上記 Q23 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 8-2 下水道局、下水道事業の情報の探求意思の理由



※ 上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

8-3. 下水道事業に関する情報の探求意思（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、「下水道」が「自分」の「生活」に「必要」なものだから、という中心の三角形部分に意見が集まっているものと想定される。
- また、「今回」の「アンケート」で「下水道」について知ることができた、といったような意見も出ている。

Q24. 上記 Q23 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 8-3 下水道局、下水道事業の情報探求意思理由の傾向



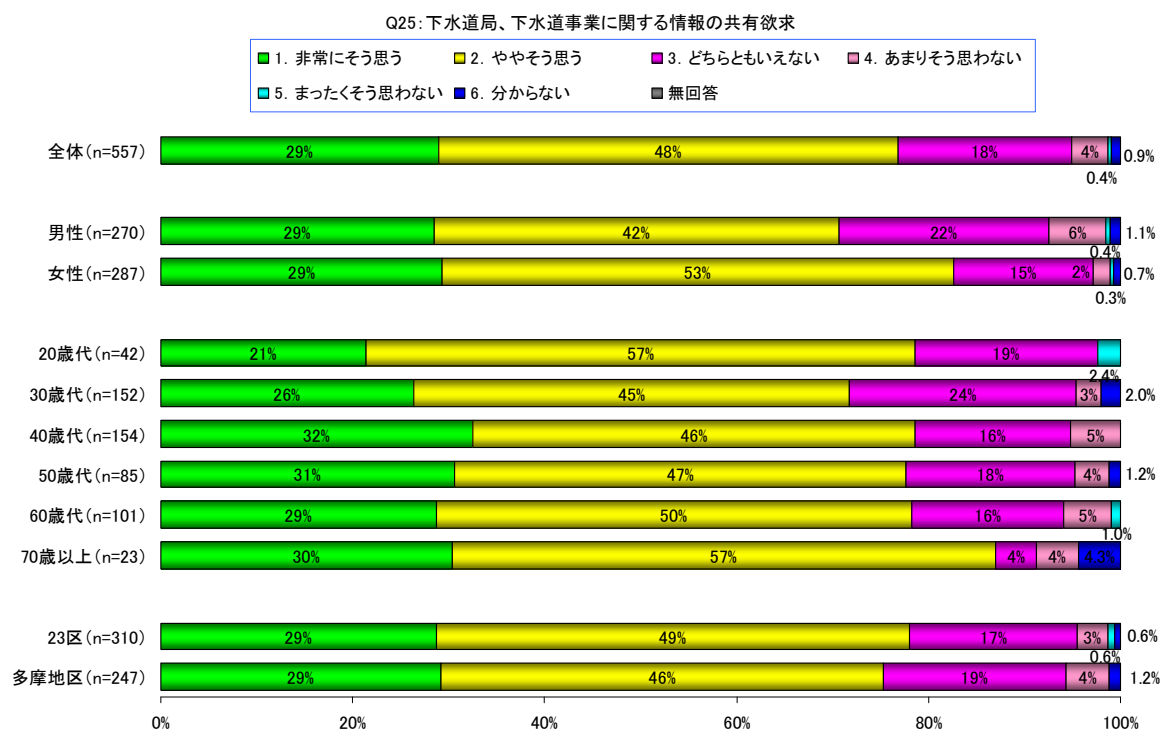
- ※ 上図は、下水道や下水道事業についてさらに詳しく知りたい（あるいは知りたくない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の●印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。
- ※ 上図はノードを 20 回答以上、紐帯を 10 回答以上のもののみ表示している。

8-4. 下水道事業に関する情報の共有欲求

- 知っていることを共有したいという「情報の共有欲求」は、全体では「非常にそう思う」割合が 29%となっており、「ややそう思う」割合の方が 48%と構成比上多くなっている。
- 性別では、女性の方が「ややそう思う」割合が多くなっており、11 ポイントの差がある。
- 年代別では、相対的に 70 歳以上がそう思う（非常にそう思う＋ややそう思う）割合が最も高くなっている。
- 地域別でも、23 区の方が多摩地区よりもそう思う割合は多い。

Q25. あなたは、下水道局や下水道事業に関して知っていることを、周囲の人に知らせたいと思いますか(単一回答)?

図 8-4 下水道局、下水道事業の情報の共有欲求

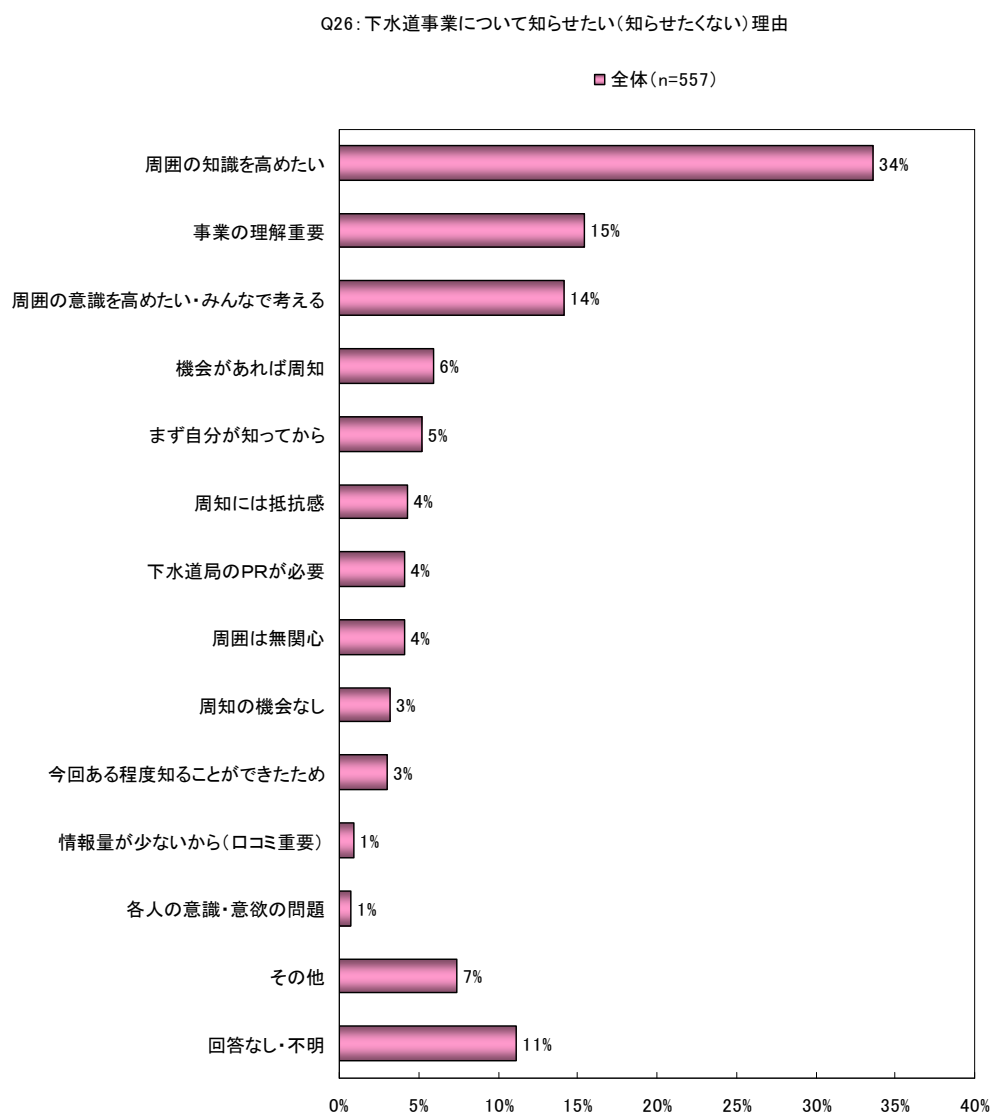


8-5. 下水道事業に関する情報の共有欲求（理由）

- 下水道事業について知らせたいと思う理由としては、「周囲の知識を高めたい」が34%と最も多く、自分も含め周囲の認識が低いことを問題視している。
- 次いで、「事業の理解重要」、「周囲の意識を高めたい・みんなで考える」が挙げられた。
- 周知に積極的でない意見としては、「機会があれば周知」（6%）、「まず自分が知ってから」（5%）、「周知には抵抗感」（4%）、「下水道局のPRが必要」（4%）、「周囲は無関心」（4%）、「周知の機会なし」（3%）などが挙げられた。

Q26. 上記 Q25 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 8-5 下水道事業に関する情報共有欲求の理由



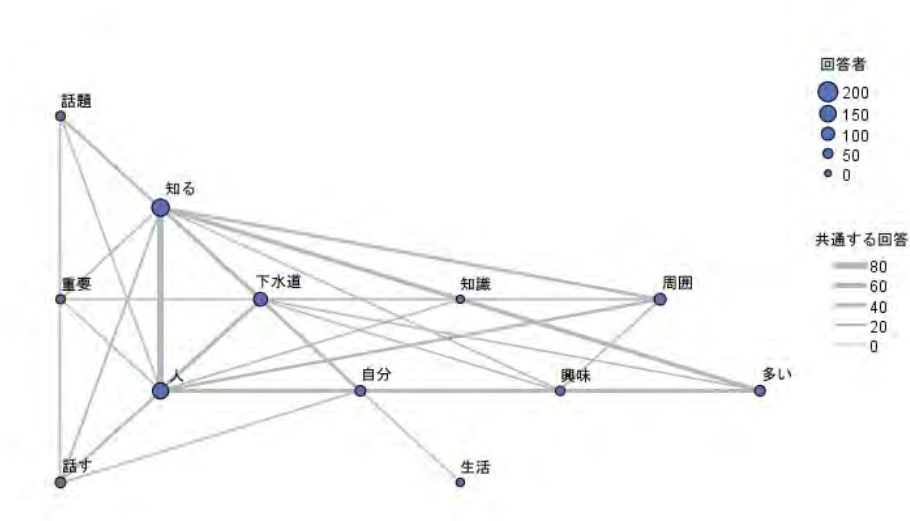
※ 上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

8-6. 下水道事業に関する情報の共有欲求（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、ほかの「人」が「下水道」について「知る」ことも「重要」といった文脈での意見が多かった。
- 一方、「周囲」は「興味」がない、ので話しにくいというのが、情報共有に積極的でない意見として挙がっていた。

Q26. 上記 Q25 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 8-6 下水道事業に関する情報共有欲求理由の傾向



※ 上図は、下水道事業について知っていることを周囲に知らせたい（あるいは知らせたくない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の●印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

※ 上図はノードを 20 回答以上、紐帯を 10 回答以上のもののみ表示している。

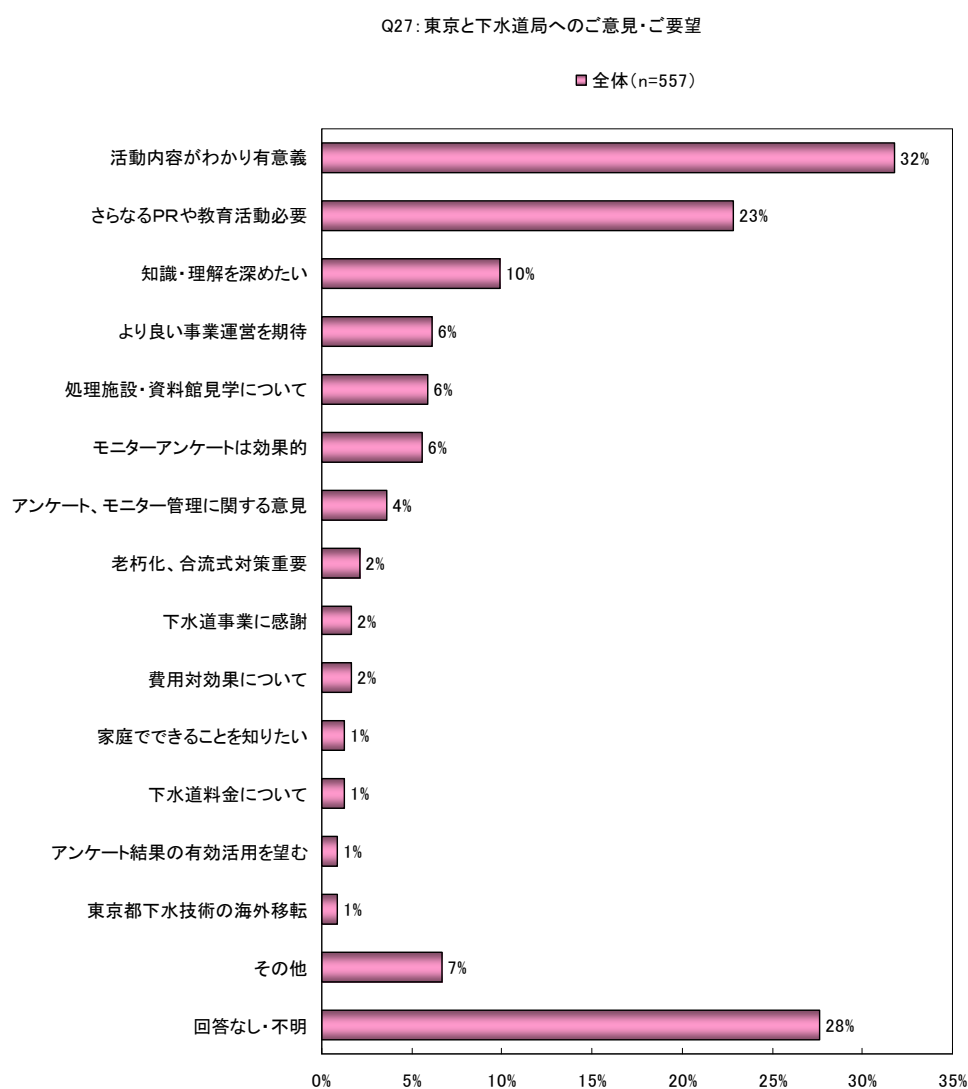
9. 下水道局へのご意見・ご要望など

9-1. 東京都下水道局へのご意見・ご要望

- 東京都下水道局へのご意見やご要望としては、「活動内容がわかり有意義」が32%と最も多く、次いで「さらなるPRや教育活動必要」が23%と多かった。特にPRについてはマスコミや交通機関の吊り広告の活用に対する要望が多かった。
- 東京都下水道局へのご意見やご要望、アンケートに対する感想など、多数お寄せいただきましたので、ここに一部ご紹介いたします。

Q27. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）、および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

図 9-1 東京都下水道局へのご意見・ご要望



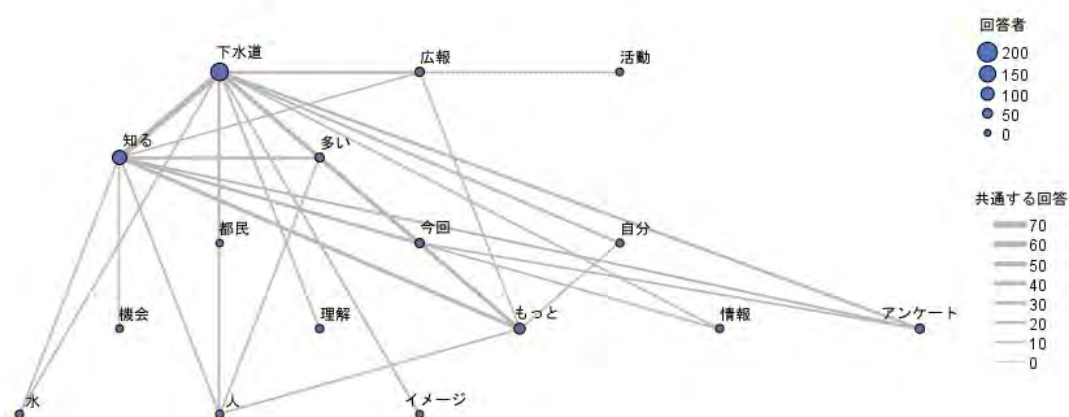
※ 上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

9-2. 東京都下水道局へのご意見・ご要望（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、「下水道」は「もっと」、「広報」、「活動」を行うべきという意見が多かったことを示している。
- また、「今回」の「アンケート」で「下水道」について「知る」ことができたという意見も多かった。

Q27. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）、および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

図 9-2 東京都下水道局へのご意見・ご要望の傾向



※ 上図は、東京都下水道局へのご意見・ご要望として寄せられた自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の●印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

※ 上図はノードを 15 回答以上、紐帯を 10 回答以上のもののみ表示している。

9-3. 東京都下水道局へのご意見・ご要望例

- 東京都下水道局へのご意見やご要望、アンケートに対するご感想など、多数お寄せいただきましたので、ここに一部ご紹介いたします。

Q27. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）、および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

1. 「活動内容がわかり有意義」に関連した意見

- ◆ 下水道管の老朽化の事は今回のアンケートで初めて知りましたが、今後どうやって新しい物に取り替えていくのか知りたいと思います。（40 歳代女性、23 区）
- ◆ 下水道管の老朽化問題は今回初めて知りました。老朽化なので早めに対処するべきかと思いますが、なかなか難しい現状があると思います。今後この問題にどのように対処されるのかとても気になります。（30 歳代女性、23 区）
- ◆ 下水道局や下水道事業に関しての情報が、これまであまり宣伝されてきていないと感じた。今回のアンケートをとおして、役割と課題を知ることができた。税金によって行われている事業ですから、運営のさらなる効率化と、抱えている課題の解決には無駄使いをしないようにしっかり対処してください。（40 歳代男性、多摩地区）
- ◆ 下水道事業というのはもっぱら汚水をきれいにすることだけだと思っていて、雨水を処理したり、それによって災害から都市を守っているということまではあまり思いが到りませんでしたので、イメージがとてよくなりました。一般の方は日頃下水道事業について知る機会はありませんと思うので、もっとアピール活動をした方が、いいのではないのでしょうか。ただし、その案の一つとしてパンフレットを作成し配布するというのは、（見ずに捨ててしまう人が非常に多く）とても税金の無駄使いなので、公園などで一般の方向けのイベントを開くなど、何か媒体を使うのではなく、直に市民の意見や声が聞こえるような形をとるべきだと思います。効果的な宣伝活動をされることを望みます。よろしくお願いします。（20 歳代女性、23 区）
- ◆ 下水道局の新たな活動や取り組みの一端を知ること社会に対する知見が広まった。（60 歳代男性、多摩地区）
- ◆ 下水道事業が前向きに色々な事に貢献されているのを初めて知りました とても大切なことだと思いますしこれからも水が安心して使えるように守り続けて頂きたいです（50 歳代女性、23 区）
- ◆ 下水は自動的に処理されていると思い込んでそのことに興味を持たないことは、人任せ過ぎる気がして、反省すべきと思いました。（40 歳代女性、23 区）
- ◆ 下水道が生活に役立っているということが少しわかりました。以前のイメージとはかな

り変わってきました。知らないということは損をしていることなんだなと思いました。まだ施設の見学未経験なので多摩地域で実施されたならば是非参加してより理解を深めたいと考えております。(30 歳代女性、多摩地区)

- ◆ 下水道と言えば汚水など処理前のマイナスイメージが強かったが、処理後の再生事業や環境対策などのことを知って、プラスのイメージが広がったように思います。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 公共事業として、ただ昔からの下水事業のみ行っていると思っていましたが、現在の環境問題に対応すべく再生水の利用や、メタンガスの発電利用など、新しい活動に取り組んでいることから、イメージが変わりました。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 一口に下水道事業といっても範囲が広いと思いました。自分はやらなくてもではなく自分がやらなくてはという気持ちを強く持って、常日頃から関心を持っていなくてはならないと認識を新たにしました。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 今迄余り知らなかった部分を知らされ、とても参考になりました。汚泥が役に立っているなど驚きと感服でした。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 災害が起きないとあらためて認識しないことであるが、下水道が設備が整っているのが当たり前、というのではなく、もっとこれがなかったらどうなるのか(例えば後進国などの下水事情など)事例をもって、世間に教えていかれるとよいと思う。豊かなことだけしか知らない国民というのはとても貧しい心になると思うので。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 災害防止、環境問題に積極的に取り組んでいるのだなということが分かった。(50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 事業内の仕事内容や時代の要請に応えるべく取り組みについて、よりよく知ることができました。今後共宜しくお願い致します。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 集中豪雨により汚水の一部があふれ出します構造になっていることは初めて知ったし、深刻な問題だと感じた。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 東京に転居して 2 年目になります。このような試みをされていることで、下水道の役割とその重要性がさらによく理解できました。下水道の公園などに咲いているバラや桜の花も素晴らしいものであると思います。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 様々な場面で下水道が必要であり、知らないところでいろいろな事業が行われていることを知りました。自分の身近な水という資源のことについて、もっと考えていかなければならないと感じました。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 様々なお仕事をされていることがわかりました。私達は、あらゆる機関がお仕事をされた結果、豊かで、安全な生活を送っておりますが、下水道局の様々な組織のうちの一つであると認識しました。(30 歳代男性、23 区)
- ◆ 幅広い下水道事業に驚いた。(60 歳代女性、23 区)

- ◆ いわゆる普通に考えられる下水道事業の他に、再生水の利用とか、温暖化にを防ぐための事業を含め、広範な活動を行っていることを知った。 もっと、認識を改めるべきだ。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ 曖昧だった貢献内容が少し分かってよかった。(20 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 無くてはならない事業であるということを改めて認識させられました。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 答えやすいアンケートであったと同時に、下水道局がどのような事業を展開しているかを、少し知ることができてよかったと思う。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 知らなかった事業、取り組みがいろいろありました。家庭から、下水に流した水をさらに有効活用されていることを知り、都民として感謝の気持ちでいっぱいです。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ 知らないことが沢山あり、下水道事業を身近に感じました下水道に関する施設を覗いてみたくなりました(50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 水道事業のなかでも、まだまだ自分が知らなかったことが多いということを再確認しました。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 色々と新規の事業を展開しているのに驚いた(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 自然に対して負荷がかからないよう色々良い事をやってるようです。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ 実生活に必要性が無いように思い勝ちであるが、知識を得ることで社会の関連性を知り、幸せを戴いているように感じました。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 社会貢献が高いことがわかったが、メタンガスの応用などはどの程度効果がでているのかよくわからなかった。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 今回のような機会がなければ、何も知らなかったと思う。少しだけ、下水道とのかかわり方を身近に感じるようになった気がする。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 今の下水道事業は、環境にとっても配慮したものであることが分かった。こういう事業内容をよく理解し、私達も環境保全に努力しなければならないと思った。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 環境問題についてたくさんの取り組みをされていることを初めて知りました。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 課題がかなり明確になりました。具体的内容(数字、現場実態)をこの機会に知ることができたらと思います。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 改めて下水道を考えるよい機会になりました。(30 歳代女性、23 区)

- ◆ 下水道事業は、汚い水をきれいにするとしたことしかイメージがなかったのですが、他にも社会的な貢献が高いことをいろいろやっていることがわかりました。(30 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水道事業は、水をきれいにするだけでなく、アンケートにあったようないろいろな事業を行っているんだなと思いました。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道局があまりイメージできなかったが、いろいろな分野で現代の状況にあった分野での成長を知ることができてよかったと思う。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道に光ケーブルを通す話など知らない部分があり、いろいろな施策や改善などが行われていると感じた。今回は都合で行けなかったが、見学会などの機会に参加して認識を新たにしていきたい。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水道といえば汚水を流すところ・・・というようなイメージしかなく、こんなに色々なことに取り組んでいるとは知りませんでした。この事業に携わる方々は大変なお仕事をされているかと思いますが、これからもどうぞよろしくお願いします。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 下水は結構きれいにして、川に流しているようには感じ取れました。しかし、東京湾(浦安近辺)で釣りを実際にしてみて、魚が油臭さがあつたり、地元の方もそういう事も言っていました。確かに以前の東京湾とはまるきり違ってきれいになっているとは思いますが。魚も大分増えたりもしているようですが。しかし、魚が油臭いという不自然さはちょっと残念です。(40 歳代男性、多摩地区)
- ◆ まだまだ知らないことが沢山ありました。これから 起こりうるであろう緊急事態にそなえて 安全な町になっていくように意識を持っていきたいと思いました。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ テレビでも取り上げられた内容などは知っていることがありましたが、知らないことも多くありました。環境や災害への貢献は特に大きいと思いました。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ ざっとサイトをみただけでは見逃していたさまざまな活動、社会貢献について知ることができたから (40 歳代女性、23 区)

2. 「さらなるPRや教育活動必要」に関連した意見

- ◆ 下水道事業のPR等も大切ですが、やはり学校教育や市町村の啓蒙活動が必要です。例えば小学校社会科のカリキュラムに下水道の役割だけでなく行政としての保全活動や住民が関わるべき事項などを今以上に盛り込むための活動も行っていたらと思います(既に活動されているのかも知れませんが...)。鉄道や道路等と同等或いはそれ以上の価値が下水道にはあると思っていますので、PRというレベル以上に住民への周知を図る活動を願って止みません。また Q22 に記載したようなビジョンを検討していただきたいと思います。(50 歳代男性、多摩地区)
- ◆ この事業は、私たちの生活にとって必要不可欠なものであるが、縁の下の力持ちのよう

に、私たちが触れたり、見たりできない状況になっているので、その大切さの意識を高揚させる公報活動は大切と思われるが、地道で息の長い活動とするには、子供達への浸透が重要と考えます。(60 歳代男性、多摩地区)

- ◆ きちんとやっているのもっとアピールしたほうがよいと思う。私はテレビをほとんど見ないのでテレビが宣伝媒体だと安易に思わずに、もっとアピールの方法を考えるべきだと思います。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ あまり一般的に関心をもたれない事業だと思いますが、実はものすごく関心を持たなければならない事業であることがわかりました。もっと、TVで放送して（TVが一番手っ取り早いと思います）一般に関心をひろげたほうが良いと思います。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ もっと下水事業について、いろいろな広告媒体を使ってアピールしてもらいたい。下水アンケートに参加した縁でホームページをみるようになったが、一般の人はなかなか自分から積極的に下水のHPにアクセスしたり、情報を収集したりはしないのではないだろうか。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 私なりに、人間にとって最も重要な「空気」と「水」の問題は避けて通れない最重要課題であると思います。にも拘わらず、「空気」に比べてもその価値を過小評価されている「治水」については、太古の昔から河の氾濫で多大な作物被害や人命そのものへの被害を限りなく経験しているのに、市民の意識が「税金の対価」としてのみ評せられことに釈然としない思いです。「治水」が現代においても如何に重要なことであるか、是非とも多くの人に知らしめるべきであると思います。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ これからの夏場は局地的な豪雨が頻発します。この時に下水道のしくみや効果・対策などみんなに知ってもらう機会を増やした方がよいと思います。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ イメージを良くする事より、集中豪雨の排水問題、下水管の取替え新設など、危機意識についての啓蒙が必要だと思います。(60 歳代男性、23 区)
- ◆ このような事を自治体広報に広く載せ、若しくは放送によって都民にもっと関心を持たせる (60 歳代男性、23 区)
- ◆ 広報 ポスター等を利用して役割やしていることを知らせた方がよい。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ TV、ラジオなどの広報活動をもっと行った方がよいと思う。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ あまりお金のかからない方法(使用量のお知らせの裏など、今何が書かれているのか印象にないが、)で工夫してPRしていけばよいと思う。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ インターネット等で積極的に活動を PR する必要があると思います。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ もう少しメディアや学校教育で取り上げてもらうべきである。(30 歳代女性、多摩地区)

- ◆ もっとテレビやラジオを通して、下水道についてPRしたり、問題提起をして多くの人が考えるきっかけを作ったほうがいいと思います。普段水道による道路工事で渋滞してイライラすることもあるので、なぜこういう工事が必要かなども、もっと上手にアピールするべきだと思いました。(40 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 縁の下の方持ち・・・などと言いきせられない様に、都会では「下水道事業なくして一時も生活が成り立たない」事を知らしめるべく、広報の頑張りを期待します。c f : 町会単位の下水道知識の普及が大切(70 歳以上男性、23 区)
- ◆ 下水道事業について利用者に周知してゆくことの難しさがあることを実感します。生活してゆく中で、生活者それぞれが、なかなか目の当たりにしづらい施設について想像力をめぐらし、この水(自分が使用した水、雨水)が何処へゆくのか、どうなるのか考えられようになればより改善されていくのだらうなと思います。(50 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水道事業の全体計画像が、よく分かっていないのでその辺を再三アピールして欲しいと思います。例えば下水道事業のあるべき姿はこうで、何年度までに100%にする計画であるとか、またそのロードマップはこうで、等々ですね。下水道普及率は先進国、先進都市のバロメーターだと思います。頑張ってください。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 重要課題が山積してると思うので、もっと下水道事業についてPRして、油を排水にない等、協力してもらいべきだと思う。(50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ Q13のような活動は今まで知らなかったため、下水道というのは色々なことに活用できるのだと興味深かった。特に下水道管に光ファイバーというのは、組み合わせの意外性もあり、もっとアピールすれば、世間の注目を集められるのではないかと。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ いつも意識せずに使用していました。でも最近家の前で下水道の管の取替えを見て、いろいろ自分なりに考えさせられました。事業の情報を見て納得できました。こういう情報を広報通じてみんなに知らせたらいいと思う。都民は少しでも役に立つため協力するとも思う。どんどんPRしてください。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ すぐ近所に下水道施設がありますが、20年もの間、その存在を意識したことがありませんでした。今後は有難い気持ちで通ると思います。また、道路にいろいろなマンホールが沢山あることに驚きました。下水道は、あまり注目されないかとは思いますが、一応もう少し、宣伝なり広報活動をしたほうがよいのではないかと思います。小学校高学年あたりに教育の一環として教えるのがよいのではと思います。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 下水をきれいに流す以外にもさまざまな事業を行っていることを知ることができました。知る機会がもっと増えれば人にも話したくなって、さらに関心が高まるように思います。広報東京都以外にも、電車の広告や身近な掲示板や新聞など、人々の目に触れやすいところで、興味をもってもらえるような内容の情報発信をしてもらえばよいかなと思います。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道事業について、知らないことが沢山あり、勉強になりました。テレビでたまには特集をもらおうと、皆の意識もちがうのでと、思いました。(40 歳代女性、23 区)

- ◆ 下水道事業には 幅広い仕事があるのに驚きました。積極的に PR しては 如何でしょうか。(60 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道事業の地道な努力を改めて知りました。今後は広報を通じて都民に知らせるべきだと思います (50 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道設備以外のことも、色々と努力してやっていることがわかった。そして、現在の都心の下水道の状況を世に知らしめて、早急に改善しなければならないことを、もっと知らせていった方が良く感じる。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 環境や災害等にこんなにたくさんのメリットがあるとは知らず、素晴らしいと感じました。より多くの人に知らせるために分かり易いポスターなどを公共施設や学校などに貼ったりするとよいのでは?と思いました (すでに貼っているとは思いますが)。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 結構色々やっていることがわかった。ほとんどの人が何も知らないので勿体無いと思った。(30 歳代男性、23 区)
- ◆ 今回のアンケートで下水道管に光ファイバーの話が載っていて、全く知らなかったのが単純に「すごい!」と思いました。進化しているんですね。こんな風に思う人がきっと他にもたくさんいると思うので、広報東京都や下水道ニュースなどに「今の下水道」や「こんなことが始まります」など掲載していただけると、もっと身近にしかもありがたいと思うように感じます。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 今回のアンケートで初めて知ったことが多い。環境問題に関心がある人も多いし、活動内容や施設の見学など、もっと一般の人に広めた方が良い。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 私からの見えないところでの仕事がたくさんあるんだなあと思いました。下水道の情報が耳に入りにくい環境にあるので、下水道の役割や維持の大変さなど、電車の中づりなどで紹介したらどうでしょうか? (30 歳代女性、23 区)
- ◆ 利用者へマナーを守ってもらうこと・正しい現状認識をしてもらう教育啓蒙が進まなければ、直接体に影響する飲み水を供給する水道と違い、何かと意識されにくい下水道は、修繕・維持保全や災害・環境・新しい都市災害対策などに今後多くの税金を使うこと自体、コストがかかりすぎる公共工事ということで都民に理解してもらうことは難しいと思う。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 色々な努力をされていることは薄々知っていたものの、まだまだ都民へのアピール・広報・啓蒙に問題有り。自己満足で終わらないで下さい。陰ながら応援しています。(50 歳代女性、23 区)

3. 「知識・理解を深めたい」に関連した意見

- ◆ 下水道がそもそもどのような役割を担っているのか、電気等他のインフラとの関係や連携をどうしているか知りたいです。(30 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道についての道端でのイベントで沢山のことを知り驚いて、もっと知ればもっと豊

かな知識で毎日に役立つと思いましたので引き続き下水道について教えてください。(60 歳代女性、23 区)

- ◆ とても水のこと知りたくなりました。こういう人をもっと増やすことも考えてほしい。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ これからもいろんな情報を知りたいので教えてください。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 私たちの生活の中で縁の下の力持ち的に役に立っている下水道。もっと知りたくなりました。(30 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 自分が、東京都下水道局が行っている活動内容を、項目ごと見学出来ればと思います。例えば、神田川の洪水対策など身近物が関心があります。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水道は、単に汚水を綺麗に還元するだけだとおもっていましたが、それ以外にもさまざまな役割があると知りました。これからも、下水道に関する情報を教えてください。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ 東京アメッシュはずいぶん前に知り、暮らしに役立っています。知人にも知らせています。TVの天気予報のときや、ちい散歩などの東京関連番組で、一言このページの存在を、広報できれば関心が高まると思います。災害対策や、新しい下水道の取り組みは、もっと詳しく知りたいと思います。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ 問題が、いまあるのであれば、協力したいので、知識を深める集まりなど、企画してください。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 自分の知らなかった環境への良い取り組みが行われていたことに非常に驚いた。これからもモニターとして、自分の住んでいる東京都の下水道事業についていろいろ勉強してみたいと思いました。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ こんなに重要なことをしていただいているのでもっと知らなきゃと考えさせられました。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ まだまだ知らないことがたくさんあるとわかりました。積極的に情報を得たいと思った。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 何が問題なのか重要度がつかめた様な気がします。時間があればホームページだけでも勉強になると思いました。じっくり見ていきたいと思っています。あたらしい情報を知り、常に学習ですネ。(70 歳以上女性、23 区)
- ◆ 何となく、知っていることも、書面になると、改めて知ることができるので良いと思いました。下水道局で働く方々が、具体的にどのようなことをしているのか、知りたいと思います。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ 公共事業ってやはりとても大切なものだと思います。こんなご時世、都合が悪くなると物言いが多くなるような傾向がありますが、みんなのきちんとした周知や理解をすることが事業向上につながるのですね。モニターに選んでいただいて、このようなことを

理解することができる機会をくださって感謝します（30 歳代女性、多摩地区）

- ◆ 護国寺在住ですが、数年前、雑司ヶ谷で下水道の工事の最中に人身事故が起き、その時のテレビ・新聞の報道で、自宅近辺の下水道がどうなっているのか知りました。日常生活では、冠水やそんなきっかけでもない限り、なかなか下水道のことを考えることはなと思います。モニターとして、いろいろと知ることが出来たら嬉しいです。（40 歳代女性、23 区）
- ◆ これからの見学会を含めこの一年間下水道に対する知識、認識を深め、家族をはじめ周りの人に多少なりとも話ができる様になればいいなと思います。（60 歳代男性、23 区）
- ◆ イメージが変わったとは、あまり感じませんでしたが、改めてアンケートに参加することによって、下水道について知ろうと思うことができ良かったと思います。（40 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 毎日使用しているのによく知らないことも多いので、もっと勉強が必要だと思いました。（30 歳代女性、23 区）
- ◆ 知らないことを知り、微々たることでも積み重なれば大きい。出来ることは意識して努力しようと思いました。（50 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 再生水の利用や環境問題に取り組む姿勢など初めて知った事がたくさんあり、もっと知りたいと思いました。（30 歳代女性、23 区）

4. 「より良い事業運営を期待」に関連した意見

- ◆ 下水道をメディアや広告等で広く世間に知らせることはなかなか難しいかもしれませんが。でも、環境問題や日常の生活では欠かせないものなので、上手にアピールして欲しいと思います。都庁や街でお目にかかる下水道の関係者の方々、みなさんととても頑張っていると思います。これからもよりよい下水道と下水道事業をよろしくお願いします。（40 歳代女性、23 区）
- ◆ 一昔前に旅をした「南のリゾート島」の景色や食べ物に感嘆して地元の方といろいろな話をしたところ、島の裏側は「あなたたちの置き土産が一杯」といわれました。地元では黄金の渚と言うそうで、きれいなホテルから垂れ流された排泄物でした。東京湾がそうした危機から見事によみがえったことを後世に伝えながら、より充実した下水道事業の発展を願います。また、できる事はみんなで負担するような社会にしたいですね。よろしくお願いします。（50 歳代男性、23 区）
- ◆ このアンケートでおもしろかったのは下水道管に光ファイバーを通した I T 化で時代に敏感な姿勢を感じた。コストなどのバランスももちろんいろいろ検討しつつ事業の推進をすすめていかなくてはいけないが下水道局のイメージが UP した（50 歳代女性、多摩地区）
- ◆ 下水道に関する知識が曖昧、漠然としたものであることに気づいた。上水道事業も同様であるが、独占事業であることに胡坐をかくことなく効率的な運営に努めて欲しい。（60 歳代男性、多摩地区）

- ◆ いろいろな課題があると思いました。財政難の中、無駄をなくして効率良く下水道事業を進めてもらいたい。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 不安の払拭と経費削減等による効率良い運営を期待する (40 歳代男性、多摩地区)
- ◆ いろいろと重要な案件がたくさんあり、お金もかかることと思います。やらなければならないことは分かるので、税金の一角も無駄なく使われることを願います。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ これからも下水道の技術を向上させて、清潔の街づくりをしていていただきたいと思っています。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ みんなが安心して生活できる環境をこれからもよろしくお願いします。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 安全で住み易いと東京を作下水道に十分な人と経費の投入が必要だと思います。(70 歳以上男性、23 区)

5. 「モニターアンケートは効果的」に関連した意見

- ◆ アンケートに回答するという事で、下水道に関する考えを見つめなおし、家族と話題にするきっかけができる。子どもにも関心を持ってもらいたかったので下水道のことをわかりやすくてかわいいお話などにした絵本があったら良いと思う。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ このアンケートを回答するだけでも下水道事業の全体像が理解出来た。その意味でも有意義なアンケートであった。(70 歳以上男性、23 区)
- ◆ アンケートに参加することは自分の知識も増え、また自分の考えをまとめるよい機会となります。今回、モニターに選んでいただきありがとうございます。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 今回のような事を、今後数多くおこなってってください。(70 歳以上男性、多摩地区)
- ◆ 今回のアンケートは大変勉強になりました。今後もたくさんを知り、多くの人に知ってほしいと思います。どうやったらこれらのことを多くの人に知ってもらえるのかを教えてほしいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 東京都の下水道事業の中で知らないことが多く、自分でもびっくりした。このモニターの活動を通して、もっと詳しく知りたいと思った。(50 歳代女性、23 区)
- ◆ モニターになって、今まで以上に下水道のことに関心を持つようになった。勉強させていただく良い機会となったことを感謝する。(60 歳代女性、23 区)
- ◆ アンケート内容で下水道について勉強になった。今後も役にたつアンケートだと嬉しい。(20 歳代男性、23 区)

- ◆ アンケートから初めて知ったことが多く、勉強になりました。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ アンケートで知らないことを教わった、感謝します。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 今まで漠然とした理解しかなかったが、このアンケートを通して、下水道に対する意識が高まって良かった、子供達にも伝えていきたいと思う (50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 日ごろ知らなかった下水道事業について新しい発見があり、とても有益なアンケートだと思いました。(30 歳代女性、多摩地区)

6. 「老朽化、合流式対策重要」に関連した意見

- ◆ 今まで、合流式下水道だとは知りませんでした。以前住んでいた地域では、道路・自宅敷地内のマンホールに「下水」「汚水」の区別が書かれていたので、別れているのが普通だと思い込んでいました。東京に来てから、マンホールにその区別がない事を不思議に思っていたのですが、合流式下水道だったからなのですね。もっと、下水道のことを、みんなが知る(学習)できるように何かすべきだと思います。多くの人は、使った後の水(汚水)の処理なんて、何も考えていないと思います。また、私達に出来ることも教えて欲しいです。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 1. 配管の老朽化、地震時の破損の危険性などの広報を機会がある度に分かりやすく、丹念に繰り返す (60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 下水道が持つ社会的使命とその機能の維持のためにしなくてはならないこと、老朽化による耐久年数を迎える下水道管が多く、これに対応しなくてはならないこと。これは、広く知らしめるべきだと思います。(50 歳代男性、23 区)
- ◆ 下水道の老朽化など放置しておくとう災害に直結してしまう事柄などは早急にPRをして、国民に知らせたほうがいいと思います。普段生活をしているだけではなかなか知り得ない情報なので現状は関心が低いと思います。(30 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道がいくつもの大きな役割を果たしていることを知り、驚いた。下水道老朽化に関しては、政治家にも知ってもらい、早く対策をとってほしいと思った。(20 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 下水道施設の老朽化の問題は非常に深刻だと感じました。(50 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 古い水道管の整備を早めに着手してください。(30 歳代女性、多摩地区)

7. 「家庭でできることを知りたい」に関連した意見

- ◆ Q26 に書いたように、電力の場合は、家庭でできるE C O対策はわかりますが、下水道の場合は、各家庭で協力でくことはどんなことがあるのでしょうか？洗う前に食器についた汚れを紙や布で拭く、などそういう小さなことでもポスターなどでもっと周知されれば、家庭から出る汚水は減るのではないのでしょうか。塵も積もれば、で下水管を長持ちさせることにもつながるのではないのでしょうか。(40 歳代女性、23 区)

- ◆ 先日のメルマガで、油を使わない料理方法のページを紹介してもらいましたが、大変参考になりました。こうした肩肘の張らない、気軽に社会貢献に資するようなページをもっと開いてください。(30 歳代女性、23 区)
- ◆ 私たちの暮らし・環境のために、とても役立っていることを知り、よかったです。具体的に、エコにつながる水の使い方や、上下水道料金が嵩まないヒントなど、教えていただきたいです。そうすれば、局としても無駄なお金を使わなくて良くなり、相乗効果が期待できると思います。(40 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 知らないことが多すぎると感じました。また、下水道がうまく流れ、滞りなく浄化するために、私たちができることをもっと知らせたほうがよいと思います。(40 歳代女性、23 区)
- ◆ あがってくる下水の臭いをどうにかする良い方法があったら教えてほしいです。掃除を依頼するとか、アパートなので難しくて、自分でどうにか出来ればと思っていますが、漂白剤を流したりしてはいけないのかなと思って何もできません。(20 歳代女性、23 区)
- ◆ 都市型浸水対策の項では、前向きに取り組み河川・海を汚さない方法を考えてほしい。ゴミ焼却場なみにいろいろと考えていることはわかった。ただしやっていることが宣伝不足のように思う。(50 歳代女性、多摩地区)
- ◆ 水の大切さを深く知りたいと思います。家でお風呂の水の再利用にトイレの排水が私でもできるようになれば、大きな貢献が出来るのではと考えています。(50 歳代女性、多摩地区)

8. 「東京都下水技術の海外移転」に関連した意見

- ◆ 下水道事業にても、水道事業に劣らない、世界に誇れる技術やノウハウを持っていることと思う。国内を優先することはもちろんであるが、途上国へ協力することもこれからは重要と思う。(60 歳代男性、多摩地区)
- ◆ 要望〜〜都が中心になって水に恵まれない国の人たち（世界）に、何か出来ないか〜考えて欲しい。(40 歳代男性、23 区)
- ◆ 日本の下水道の技術は世界に類がないそうですが、それらの技術を世界に伝えてほしいと思います。特に中近東やアフリカの国々のために役立ててほしいと思います。状況的に難しいとは思いますが。将来そうなる事を願っています。(60 歳代女性、23 区)

以 上